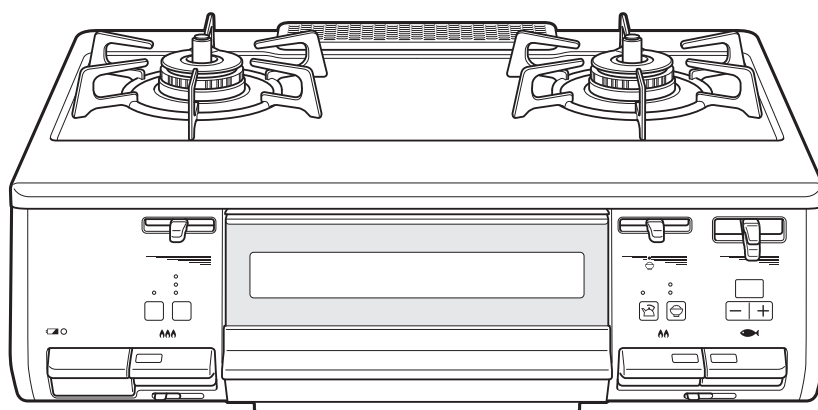
Rinnai 家庭用

取扱説明書

保証書付

グリル付ガステーブル

品　名	型式の呼び
RT62WH5T-VL	RT62WHT-L
RT62WH5T-VR	RT62WHT-R
KGM62VT-TGL	RT62WHT-L
KGM62VT-TGR	RT62WHT-R
KGM62VT-TBL	RT62WHT-L
KGM62VT-TBR	RT62WHT-R

Si 全口センサー搭載 センサーコンロ

このたびは、リンナイグリル付ガステーブルをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

よく読んで安全に正しくお使いください

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。
- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- この機器は家庭用ですので、業務用のような使いかたをされますと著しく寿命が短くなります。
- この機器は国内専用です。海外では使用できません。
- 取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店、またはもよりの当社事業所にお問い合わせください。

こんなときも　あわてないで

- 火が小さくなった
- 火が消えた
- 火がつかない

Si センサーコンロの安全機能がはたらいています

詳しくは52ページをご覧ください

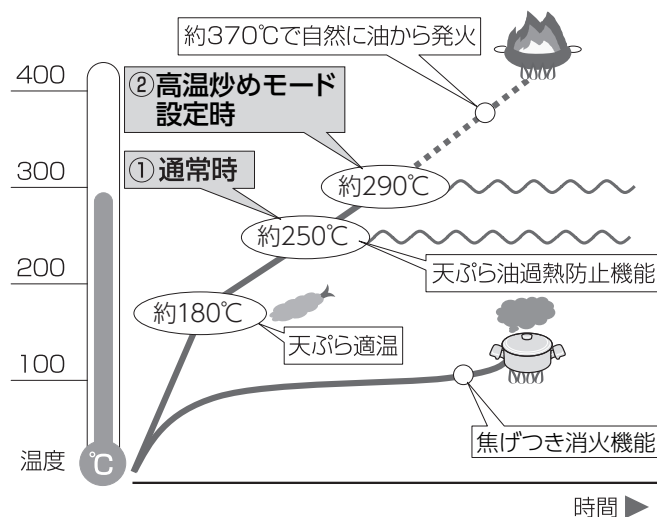
なるほど 安心 Si センサーコンロ

温度を見守る温度センサーで、安心便利機能を充実させた新しいコンロです。

万一の消し忘れや
天ぷら油の過熱を未然に防止

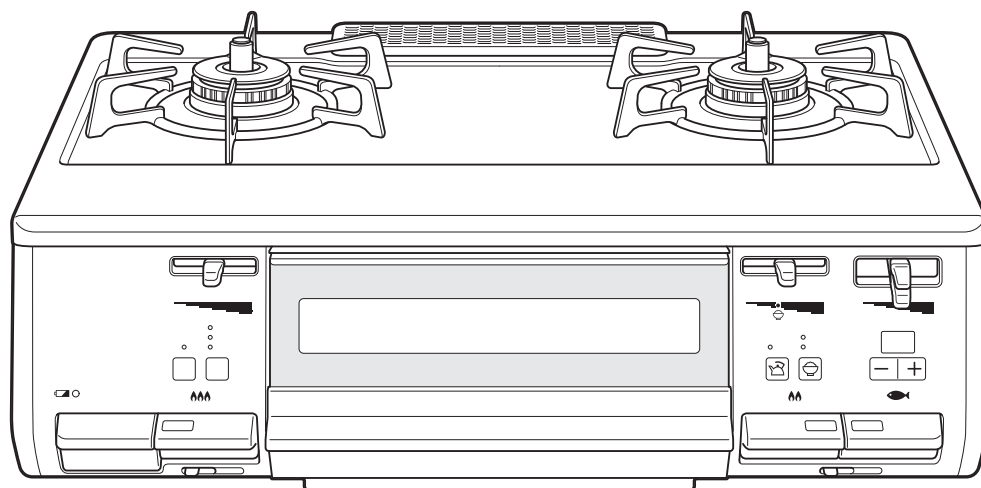
鍋底が高温になると
自動的に弱火になる安全設計

煮ものなどで焦げついた場合
初期段階で自動消火

温度センサーのはたらき

①通常時

温度センサーのはたらきにより、炒めものやいりものなど比較的温度の高い調理や、鍋の空焼きをしたときに、強火・弱火を自動で調節したり、自動で火を消したりします。

②高温炒めモード設定時

高温炒めモードは温度センサーがまったくはたらかなくなる機能ではなく、①**通常時**よりも高い温度まで調理できる機能です。高温炒めモードを使用した場合でも、鍋の異常過熱を防ぐために、強火・弱火を自動で調節したり、自動で火を消したりします。高温炒めモードに設定してから、最長60分（最初に自動で弱火になってから約 30 分）で、自動で火を消します。
高温炒めモード設定中は、焦げつき消火機能や天ぷら油過熱防止機能ははたらきません。

お問い合わせの多い項目です

詳しくは ☞ 52ページ

1 勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする

■ Si センサーコンロの安全機能がはたらいています。

2 高温炒めモードに設定したのに、勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする

■ すべての安全機能が解除されたわけではありません。

3 操作ボタンを押しても点火しない

■ もしかして乾電池？

⚠ 警　告

■焼網は使用しない

トッププレートに落ちた油などが発火したり、機器の異常過熱のおそれがあります。

焼網

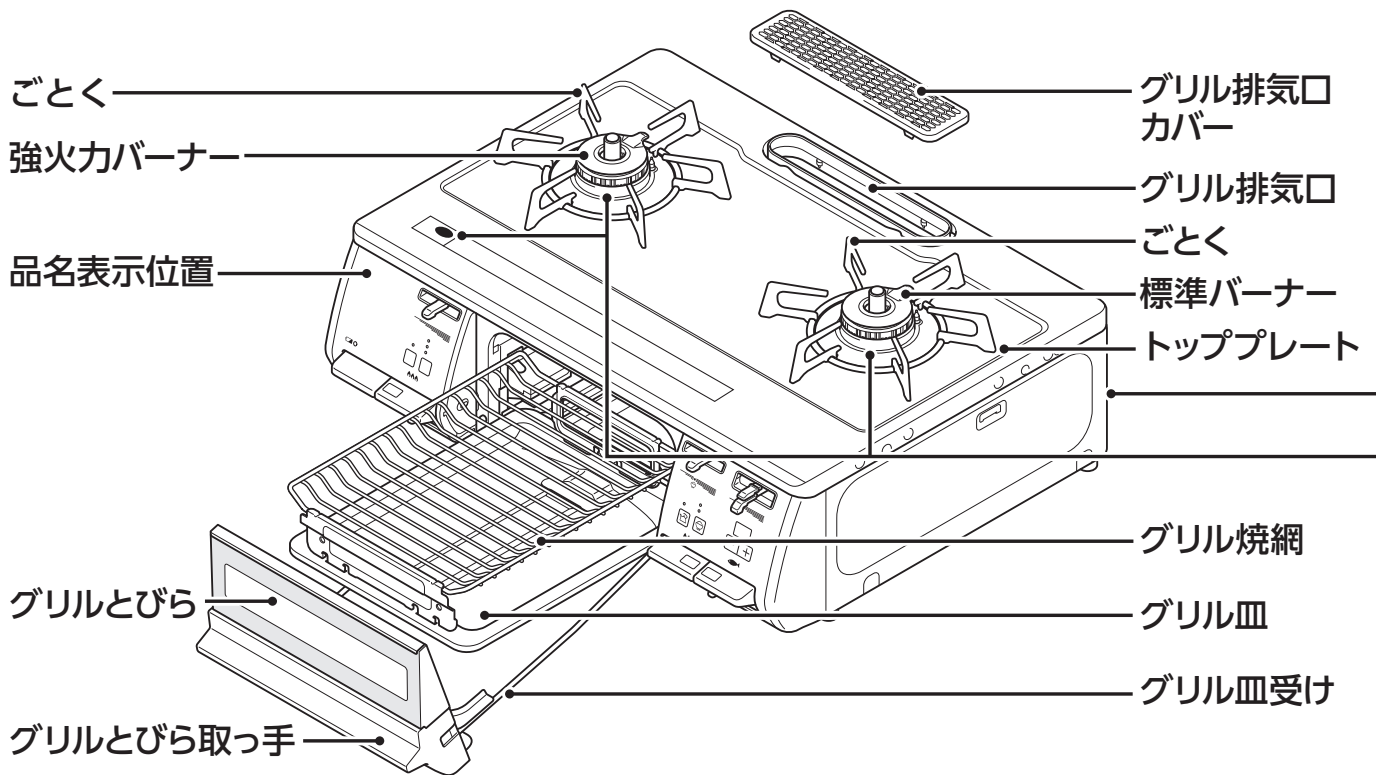
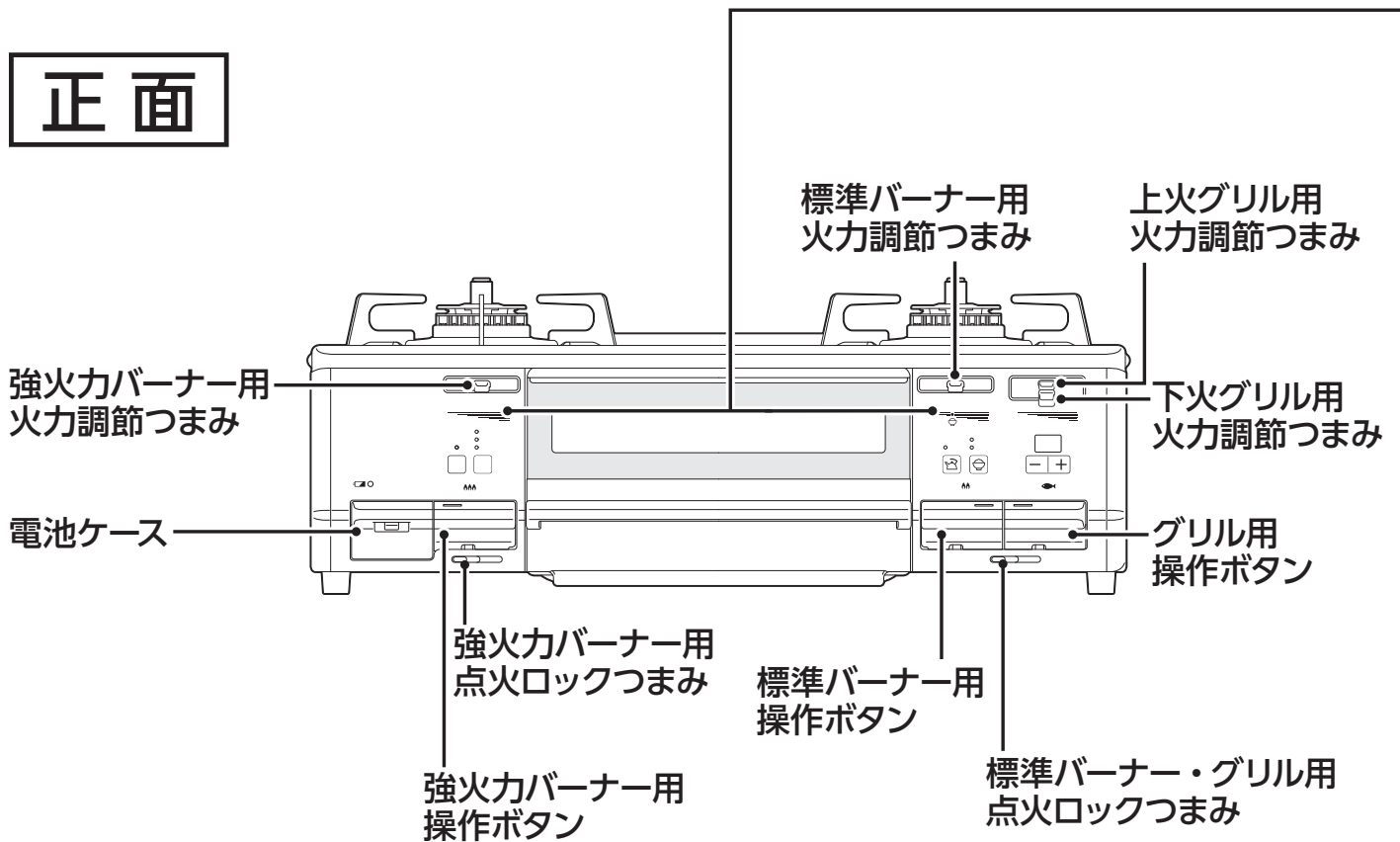
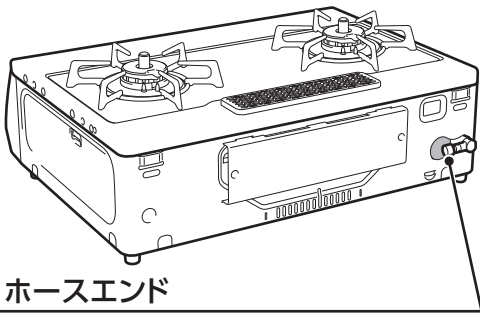
もくじ

各部のなまえ

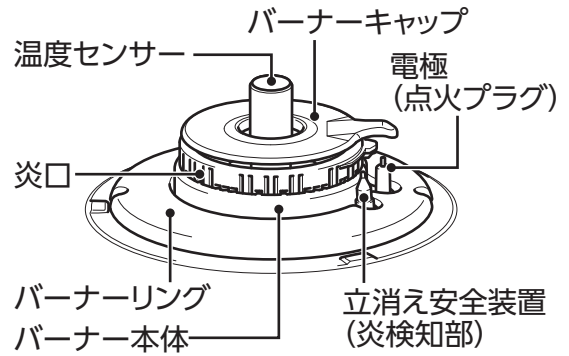
●図は左コンロが強火力バーナーの機器で説明しています。

ごとく
強火力バーナー
品名表示位置
グリルとびら
グリルとびら取っ手
グリル排気口カバー
グリル排気口
ごとく
標準バーナー
トッププレート
グリル焼網
グリル皿
グリル皿受け

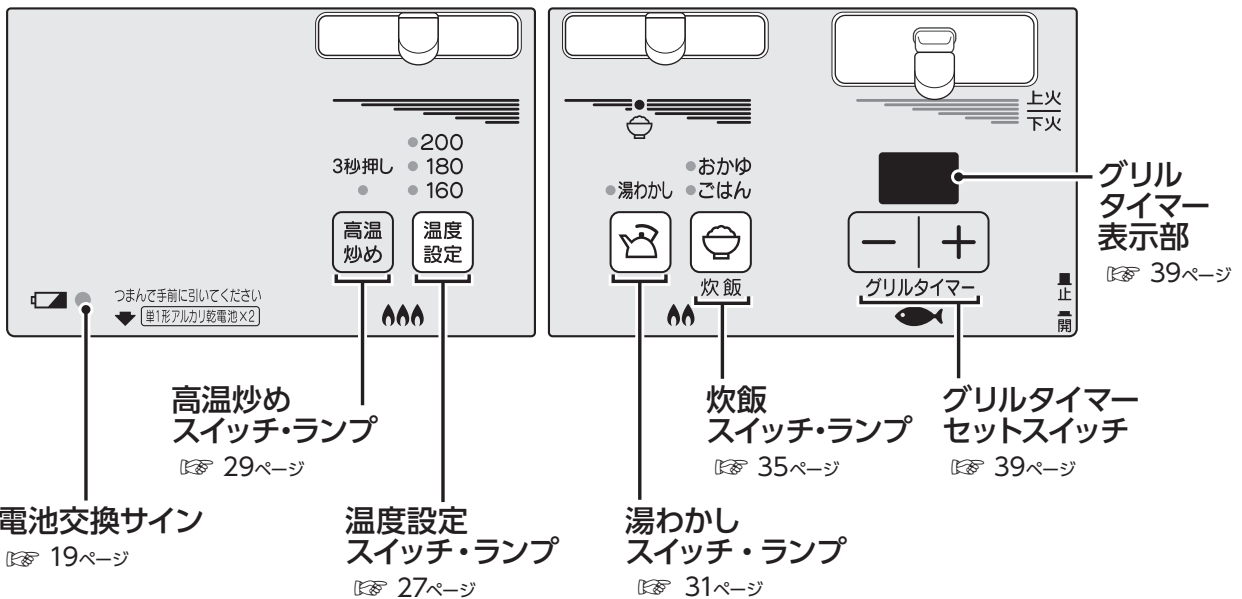
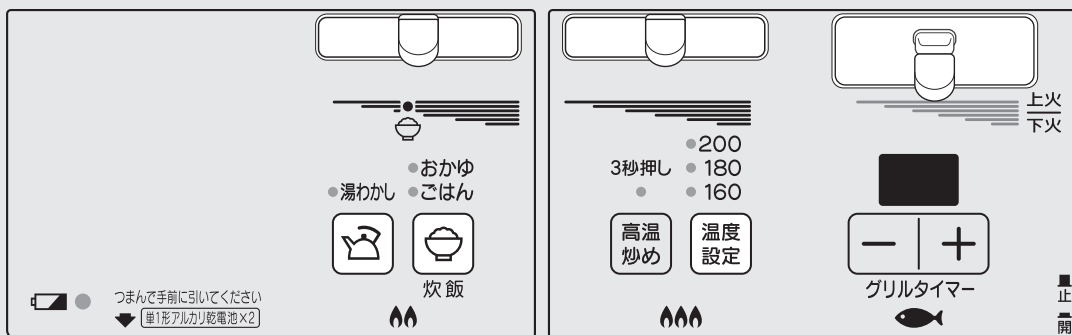
正 面

強火力バーナー用火力調節つまみ
電池ケース
標準バーナー用火力調節つまみ
上火グリル用火力調節つまみ
下火グリル用火力調節つまみ
グリル用操作ボタン
強火力バーナー用点火ロックつまみ
強火力バーナー用操作ボタン
標準バーナー用操作ボタン
標準バーナー・グリル用点火ロックつまみ

本体後面

ホースエンド

使用する場合は、キャップをはずしてください。
長期間使用しない場合に使用しますので、
なくさないように保管してください。

バーナー部

この表示がしてある側の
バーナーが強火力バーナーです。

操作部

●左コンロが強火力バーナーの機器の場合

●右コンロが強火力バーナーの機器の場合

便利機能で楽しく調理

便利機能を上手に使って、楽しく調理しましょう。

揚げものをするとき ☞ 27ページ	温度設定モード 温度設定	焼きギョーザ お好み焼き にも使えます
炒めもの、いりもの、あぶりものをするとき ☞ 29ページ	高温炒めモード 高温炒め	ぎんなん ごまを いるときにも
お湯をわかすとき ☞ 31ページ	湯わかしモード	コーヒー 紅茶の 湯わかしに…
ごはん･おかゆを炊くとき ☞ 35ページ	炊飯モード	雑穀米 麦ごはんも 炊けます

安全上のご注意（必ずお守りください）

■お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示には次のような意味があります。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です

火気禁止

接触禁止

分解禁止

この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です

この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

ガス漏れに気づいたら

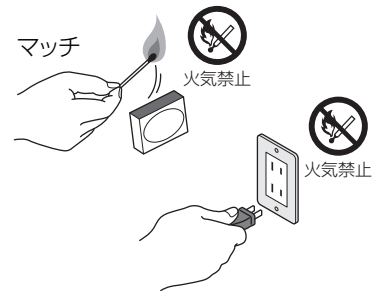
火気禁止

■絶対に火をつけない

■電気器具（換気扇など）のスイッチの入 / 切をしない

■電源プラグの抜き差しをしない

■周辺で電話を使用しない

炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

■すぐに使用を中止する

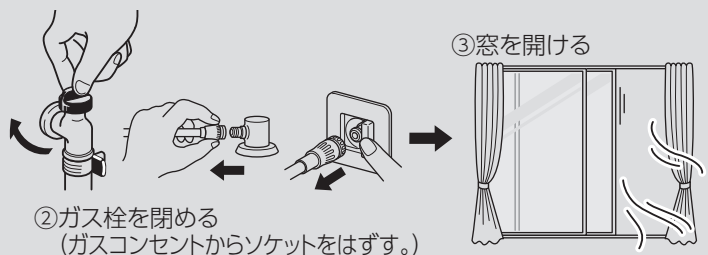
①火を消す。

②ガス栓を閉める。（つまみのないガスコンセント接続の場合は、ガスコンセントからソケットをはずす。）

③窓や戸を開けガスを外へ出す。

④外に出て、もよりのガス事業者（供給業者）に連絡する。

②ガス栓を閉める
（ガスコンセントからソケットをはずす。）

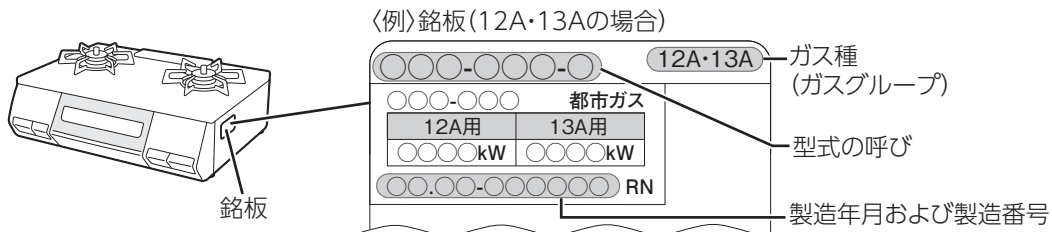
③窓を開ける

安全上のご注意（設置編）

⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

■絶対に改造・分解は行わない

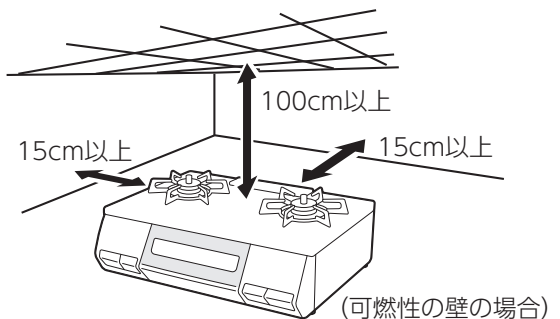
一酸化炭素中毒、ガス漏れ、火災、作動不良の原因になります。

■機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）以外のガスでは使用しない

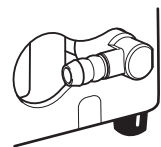
- 表示のガス種が一致していない場合、不完全燃焼により一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する原因になりますので、使用しないでください。
- 銘板は機器本体右側面に貼ってあります。供給ガスの種類がわからない場合はお買い上げの販売店、またはもよりのガス事業者にお問い合わせください。
- 転居されたときも、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを確認してください。

■可燃物との距離を確実に離す

火災予防条例で定められていますので、必ず守ってください。距離が近いと火災の原因になります。
以下の場合は必ず別売の防熱板を取り付けてください。 ☞ 15 ページ

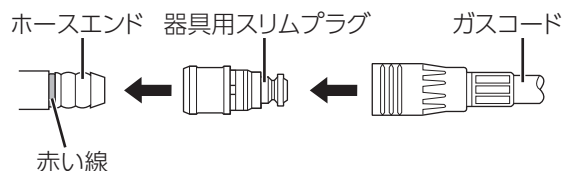
- 可燃性の壁（ステンレスやタイルを貼った可燃性の壁も含む）との距離を右図のようにとれない場合
  防熱板はお買い上げの販売店、またはもよりの当社事業所にお問い合わせください。

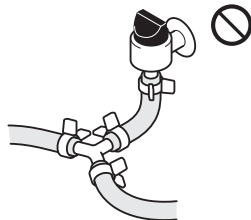
（可燃性の壁の場合）

■設置後機器の周辺を改装する場合も可燃物との距離を確実に離す

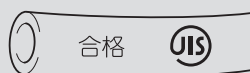
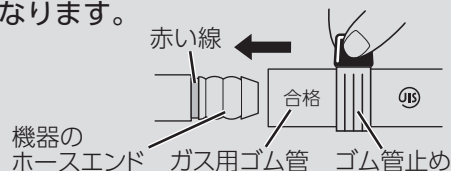
■ホースエンドのキャップをはずし、汚れやゴミがないことを確認する

ガス漏れの原因になります。

ガスコードは

■器具用スリムプラグおよびガスコードの取扱説明書に従って接続する

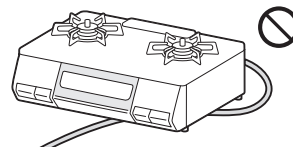
「ガスコードで接続する場合」 ☞ 18 ページをご覧ください。間違った接続はガス漏れの原因になります。

ガス用ゴム管（ソフトコード）は

■継ぎたしや二又分岐はしない
ガス漏れの原因になります。

■ひび割れたり、古くなったガス用ゴム管は使用しない
ガス漏れの原因になります。ときどき点検して古くなった場合は取り替えてください。

■検査合格マークまたはJISマークの入っているものを使用する
ガス用ゴム管以外は耐久性に欠けガス漏れの原因になります。ビニール管は絶対に使用しないでください。

■ホースエンドの赤い線まで差し込んでゴム管止めでしっかりと止める
しっかり止めないとガス漏れの原因になります。

ガス用ゴム管（ソフトコード）、ガスコードは

■グリル排気口などの高温部に触れたり、折れたり、ねじれた状態で使用しない
できるだけ短くして使用してください。

■機器の下を通したり、グリル排気口や炎に近づけない

■他の機器で加熱されるような所に通さない
使用時は周囲が高温になりガス用ゴム管がとけたり、ガスコードが過熱されガス漏れの原因になります。

⚠注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置場所は

■棚の下など落下物の危険のある場所に設置しない
機器の上に落ちたものが燃えて、火災の原因になります。

■強い風の吹き込むところに設置しない
点火不良や途中消火、機器内部の損傷、安全機能が正しくはたらかないなどの原因になります。

■湯沸器の下に設置しない
湯沸器の不完全燃焼防止装置がはたらき、火がつかない場合があります。また、湯沸器の寿命を縮めます。

■照明器具など樹脂製品の下に設置しない
照明器具のかさなどが変形・変色することがあります。

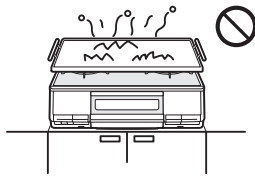
■車両・船舶には設置しない
使用中に機器が傾いたりし、火災・やけどのおそれがあります。

■水平で安定性のよい丈夫な台の上に設置する
不安定な所や傾いた所に設置すると機器が傾いてやけどやけがのおそれがあります。

安全上のご注意（使用編）

⚠警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

コンロには

■**コンロをおおうような大きな鉄板や鍋は使用しない**

■**アルミはく製しる受け、省エネごとくなどの補助具は使用しない**

一酸化炭素中毒や機器の異常過熱のおそれがあります。

アルミはく製しる受け

省エネごとく

■**焼網は使用しない**

トッププレートに落ちた油などが発火したり、機器の異常過熱のおそれがあります。

焼網

■**高温炒めモードで揚げもの調理をしない**

調理油の温度が高くなり、発火するおそれがあります。

使用中には

■**機器から離れない**

■**就寝・外出をしない**

- 調理中のものが異常過熱し､火災の原因になります。特に揚げものをしているときは注意してください。
- グリルを消し忘れると、調理中のものに火がつくことがありますので注意してください。
- 調理物（魚など）の種類によっては、グリル過熱防止センサーやグリルタイマーがはたらく前に発火するおそれがあります。
- 電話や来客の場合は必ず火を消してください。

■**火がついたまま持ち運ばない**

火災、やけどの原因になります。

ガスコンロの近くには

■**爆発のおそれがあるものを置かない**

圧力が上がり、爆発のおそれがあります。

- スプレー缶
- カセットコンロ用ボンベなど

■**引火しやすいものを使用しない**

火災の原因になります。

- スプレー・ガソリン・ベンジンなど

■**燃えやすいものを置かない**

火災の原因になります。

- 機器の上方に調味料ラックなど
- ペットボトル・プラスチック類
- ふきんやタオル・調理油など

■**グリル排気口にはふきんをのせたり、アルミはくなどでふさがない**

■**グリル排気口のまわりにはものを置かない**

異常燃焼による一酸化炭素中毒や火災、機器焼損の原因になります。

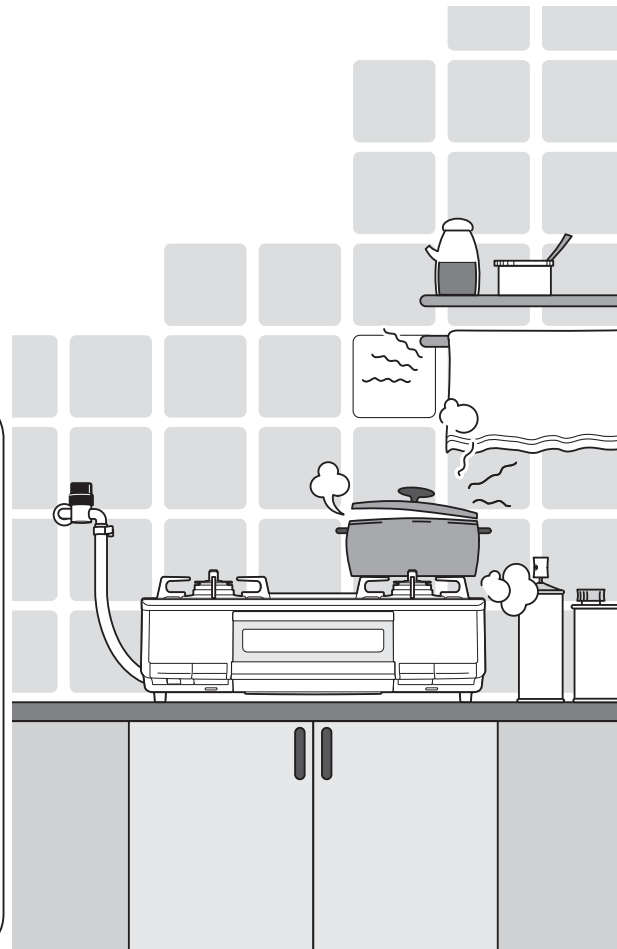
ガスコンロの下には

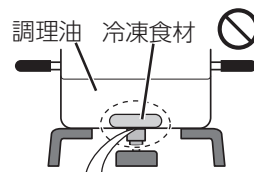
■**燃えやすいものを敷かない**

火災の原因になります。

- 新聞紙・ビニールシートなど

■**電源コードを通さない**

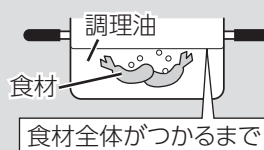
火災の原因になります。

揚げもの調理の際には

■冷凍食材を鍋の底面中央に密着させた状態で揚げものをしない
鍋の底面中央（温度センサーの接触位置）に冷凍食材が密着した状態で揚げもの調理をすると、温度センサーが鍋底の温度を正しく検知しないため、発火するおそれがあります。

冷凍食材を鍋の底面中央（温度センサーの接触位置）に密着させない

■複数回使った調理油で揚げものをしない
何回も使用して茶褐色に変色した調理油、にごった調理油、揚げカスなどが沈んだまま残っている調理油は使用しないでください。発火が起こりやすくなる場合があります。

■揚げ過ぎない
豆腐などの水分の多いものや、衣つきのコロッケなどの破裂しやすいものなどは、特に注意してください。長時間揚げ過ぎると油が飛び散り、発火や、やけどのおそれがあります。

■揚げものは食材全体がつかるまで調理油（必ず200ml以上）を入れて行う
調理油の量が少なかったり、減ってきたりすると、発火するおそれがあります。特にフライパンなどの底が広い鍋で揚げものをする際は、食材全体が調理油につかっていないと、発火するおそれがあります。

食材全体がつかるまで

■コンロ使用中は身体や衣服が炎に近づかないように注意する
衣類に炎が移ってやけどのおそれがあります。また、温度センサーがはたらいて炎が自動的に大きくなったり、風で炎があおられて鍋底からあふれ、衣類に移ることがありますので、注意してください。

グリルは

■グリル石やグリルシート、アルミはくなどをグリル皿に使用しない
異常燃焼による一酸化炭素中毒や、機器損傷の原因になります。

■脂が多く出る調理時はグリル皿、グリル焼網にアルミはくを敷かない
アルミはくの上に脂がたまり、過熱され、発火するおそれがあります。

■グリルとびらに魚などをはさみこまない
魚などが燃えたり、トッププレート前部を焦がしたり、機器の上部が過熱され、やけどのおそれがあります。

■グリル庫内に食品くずやふきんなどがないことを確認する

■グリル皿などにたまった脂、グリル焼網についた皮や食材はご使用のつど取り除く
食品くずやふきん・脂が燃えて、発火や火災・やけどのおそれがあります。

使用後は

■操作ボタンを戻して、火が消えたことを確認する

■ガス栓を閉める（つまみのないガスコンセント接続の場合は、ガスコンセントからソケットをはずす）
消し忘れによる火災の原因になります。特にグリルは消し忘れをしやすいので、必ず火が消えたことを確認してください。

異常時は

■火を消し、ガス栓を閉める（つまみのないガスコンセント接続の場合は、ガスコンセントからソケットをはずす）
地震、火災、異常な燃焼・臭気・異常音を感じたときは、すぐに使用を中止してください。☞46～54ページを確認し、必要に応じてお買い上げの販売店、またはリンナイフリーダイヤルにご連絡ください。

安全上のご注意（使用編）

⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

使用中、使用直後は

■操作ボタン・操作部・つまみ・グリルとびら取っ手以外は触らない

やけどのおそれがあります。グリルのみ使用してもグリルバーナーの炎や排気の熱により、トッププレートは熱くなります。触らないよう注意してください。

■グリルとびらに水や洗剤をかけない

ガラスが割れてけがのおそれがあります。

■点火するときや使用中はバーナー付近に顔を近づけたり、グリルとびらを開けてのぞき込まない

炎や熱で顔をやけどするおそれがあります。

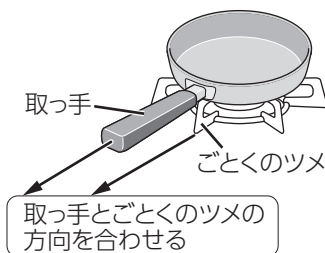
グリル排気口には

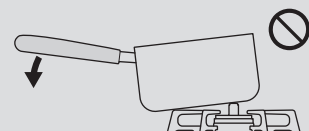
■手や顔などを近づけない

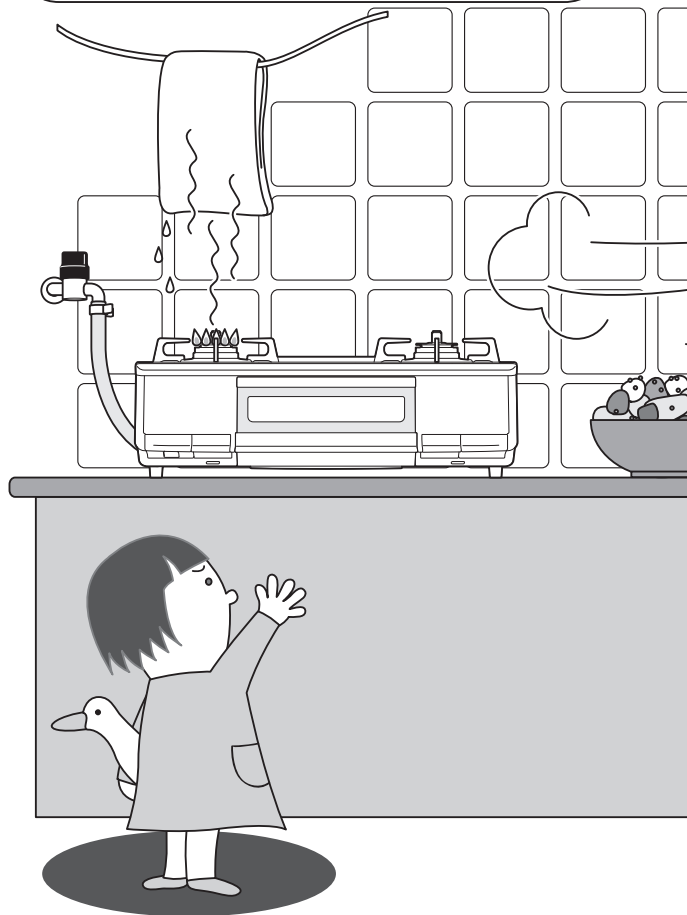
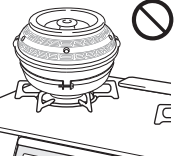
■鍋の取っ手を排気口に向けない

高温の排気が出ます。やけどに注意してください。鍋の取っ手が過熱され、取っ手を焼損する原因になります。

■片手鍋や小径鍋、へこんだ底・丸い底・滑りやすい底の鍋は不安定な状態で使用しない

鍋が傾いたり、滑ってやけどのおそれがあります。鍋の取っ手はごとくのツメと同じ向きに置いて機器手前にはみ出さないようにし、中華鍋などの丸底鍋は取っ手を持って調理するなど、安定した状態で使用してください。

■軽い鍋は調理物を含め 300g 以上で調理する

軽い鍋や取っ手が重い片手鍋は、温度センサーによって押し上げられて倒れ、やけどのおそれがあります。調理中にふたを取ったり、水分の蒸発などで軽くなっても鍋が傾くことがありますので、取っ手を持って安定した状態で使用してください。

■コンロには石焼いもつぼなどの空焼きをする調理具は使用しない

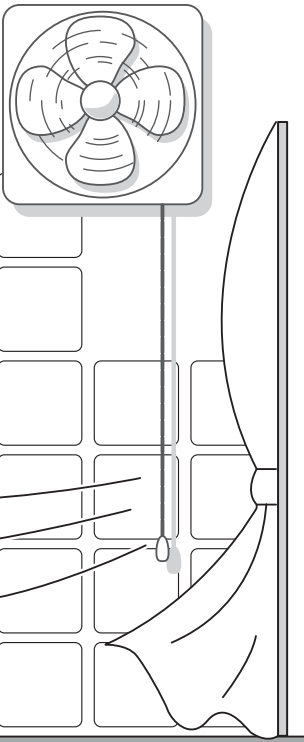
異常過熱による機器損傷の原因になります。

■幼いお子様だけで触らせない

やけどやけがなど思わぬ事故の原因になります。

■操作部やグリルとびらには強い力を加えない
手で押えたり、ぶら下がるとけがや機器損傷、誤作動の原因になります。

■操作部には水や洗剤を直接かけない
誤作動の原因になります。

■機器に風を当てない
扇風機やエアコンなどの風が当たると安全機能が正しくはたらかず、機器損傷や誤作動の原因になります。

■調理以外に使用しない
衣類の乾燥や練炭の火起こしなどをすると、火災や機器焼損の原因になります。

■使用中は必ず換気扇を回すか、窓を開ける
●換気をしないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。
●下記の場合は、換気扇を回さずに窓を開ける。
 • 屋内設置で自然排気式給湯器を使用している場合
 • 屋内設置でふろがまを使用している場合
 換気扇を回すと、排気ガスが逆流して一酸化炭素中毒のおそれがあります。

点火しない場合は

■操作ボタンを戻して、消火の状態にし、周囲のガスがなくなってから再度点火する
すぐ点火操作をすると周囲のガスに引火して､衣服に燃え移ったり、やけどのおそれがあります。

■やかんや鍋などの大きさに合わせて火力調節する
火力が強いと取っ手が焼損したり､手を触れるとやけどのおそれがあります。

機器の点検・お手入れ・まわりのお掃除の際は

■機器を水につけたり、機器に水をかけたりしない
不完全燃焼、故障の原因になります。

■機器が冷めていることを確認する
調理後は高温のため触れると、やけどのおそれがあります。

■ガス栓を閉める（つまみのないガスコンセント接続の場合は、ガスコンセントからソケットをはずす）
誤って点火した場合、やけどのおそれがあります。

■操作ボタンをロックする
☞26ページ
不用意な点火を防ぎます。

■必ず手袋をする
手袋をしないとけがのおそれがあります。

■バーナーキャップに煮こぼれがかかったときは、必ずお手入れをする

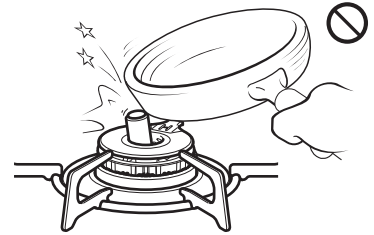
■バーナーキャップを水洗いしたときは水気を十分ふき取ってから取り付ける
炎口がぬれたまま使用すると点火しなかったり、異常燃焼の原因になります。

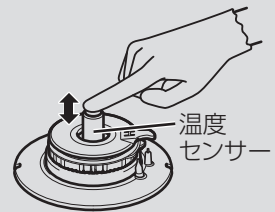
安全上のご注意 （使用編）

⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

温度センサーは

■強いショックや力を加えたり、傷をつけない

変形や傾きにより温度センサーが正しくはたらかなくなり、調理油が発火するおそれがあります。

■お手入れは汚れたらそのつど行い、上下にスムーズに動くことを確認する

- 動きが悪いと鍋などが傾き、お湯などがこぼれ、やけどのおそれがあります。
- スムーズに動かない場合は、必ず点検・修理を依頼してください。

グリルは

接触禁止

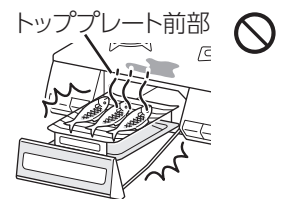
■魚などの調理物を取り出すときなどは、手や腕をグリルとびらやガラスに触れない

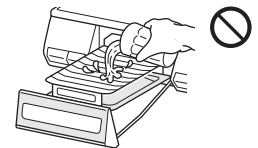
やけどのおそれがあります。
グリルとびらはいっぱいまで引き出してください。

■魚などの調理物を焼き過ぎない

魚などの調理物に火がつき火災の原因になります。
グリル庫内で魚などが燃えたり、たまった脂に引火した場合は、
①操作ボタンを押してグリルの火を消す。
②調理物の炎が消え、グリル庫内が冷めるまでグリルとびらを開けない。
③消火後、点検を依頼する。

■グリルとびらを開けたまま使用しない

グリルとびらを開けたまま使用したり、ひんぱんに開けたり閉めたりすると、トッププレート前部を焦がしたり、機器の上部が過熱され、やけどのおそれがあります。

■グリル皿には水を入れない

この機器は、グリル皿に水を入れる必要がないタイプです。
水を入れないでご使用ください。
水が高温になり、こぼすとやけどのおそれがあります。

■とり肉などの脂の多い食材を焼くときは注意する

- 焼き具合を見ながら、火力調節してください。
- 脂に引火して、グリル排気口から炎が出る場合があります。やけどや火災などの原因になります。

■異なる食材（焼き上げの早い食材、遅い食材）を同時に焼くときは注意する

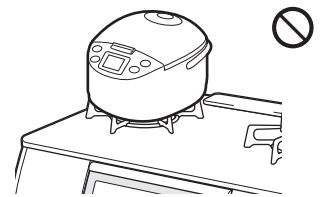
焦げたり、発火するおそれがあります。

■グリル皿はゆっくり水平に出し入れし、ていねいに持ち運ぶ

- グリルとびらを持ち上げたまま引き出すと、途中で止まらず落下し、やけどや損傷のおそれがあります。☞37ページ
- グリル皿にたまった高温の脂をこぼすと、やけどのおそれがあります。

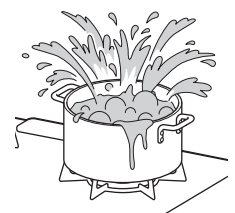
お願い

機器のご使用は

- 使用中もときどき正常に燃焼していることを確認してください。
- 火力を弱火にしたときやグリルは、消し忘れに注意してください。
- ガス栓を操作して火を消さないでください。
  やけどや思わぬ事故の原因になります。
- 使うバーナーの操作ボタンを間違えないように注意してください。
- トッププレートの上で、IH ジャー炊飯器、卓上型 IH クッキングヒーターなど電磁誘導加熱の調理器具を使わないでください。磁力線により機器が故障する原因になります。

コンロのご使用は

- 調理中に鍋をのせかえるときは、いったん火を消してください。
- 煮こぼれに注意し、火力調節してください。
  煮こぼれすると機器内部が汚れます。また、トッププレート・ごとく・バーナーなどに煮こぼれが焼きついたりして、機器を傷めるおそれがあります。
- 熱くなった鍋などをトッププレートのラベルの上に直接置かないでください。
  ラベルが熱で変色したり、損傷したりすることがあります。

突沸現象について

- カレー、ミートソースなどのとろみのある料理やみそ汁などを煮たり温めたりするときは、突沸に注意してください。

突沸現象とは？

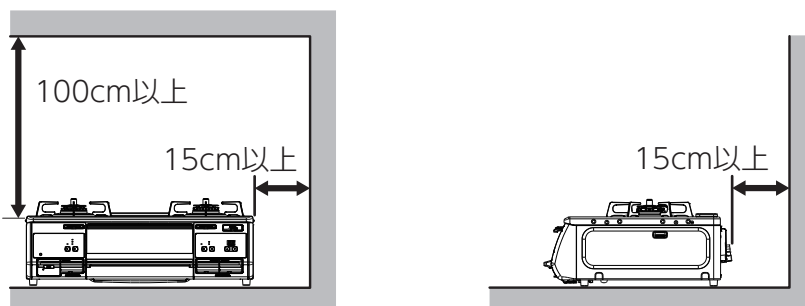
突沸現象とは、突然に沸とうする現象です。水、牛乳、豆乳、酒、みそ汁、コーヒーなどの液体を温めるときにささいなきっかけ（容器をゆする、塩、砂糖などを入れる）で生じます。
この現象が調理中に起きると、鍋がはねあがったり、高温の液体が飛び散るため、やけどやけが、機器損傷のおそれがあります。

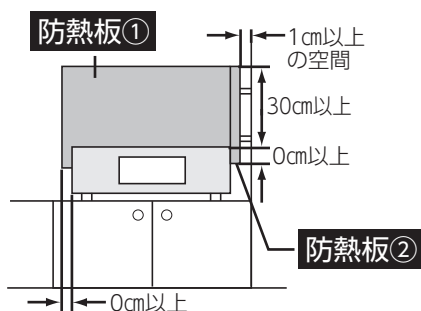
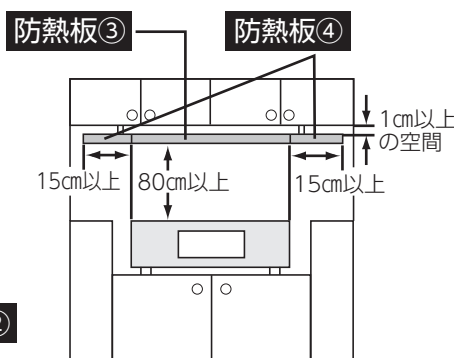
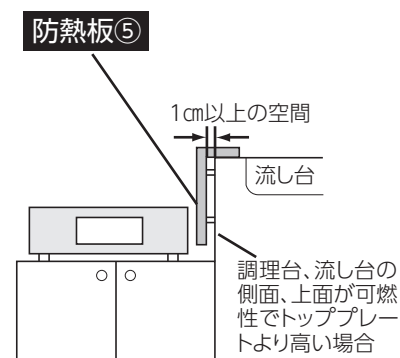
予防方法

・カレー、ミートソースなどのとろみのある料理やみそ汁などの汁物の温めは、弱火でかき混ぜながら加熱してください。（強火で急に加熱しない）
・熱い汁物に、塩、砂糖などの調味料を入れる場合は、少し冷ましてから行ってください。
・鍋の大きさにあった火力で加熱してください。

● 機器の設置や移動の際は必ず手袋をし、機器は本体下の端部を持ってください。

1 設置場所を確認する（周囲の防火措置）

図のように設置してください。

上記の距離がたもてない場合

壁面に別売の防熱板を取り付けて設置してください。

防熱板（別売品）の種類

	型番	高さ(mm)	幅(mm)	奥行(mm)
①	RB-60B	550	600	—
②	RB-55S	550	—	550
③	RB-60T	—	600	550
④	RB-15T	—	150	550
⑤	RB-50S	150	40	500

お願い

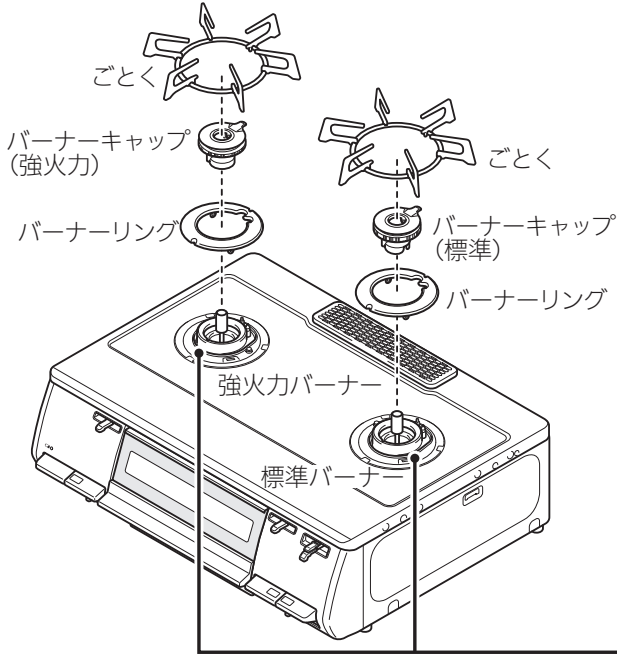
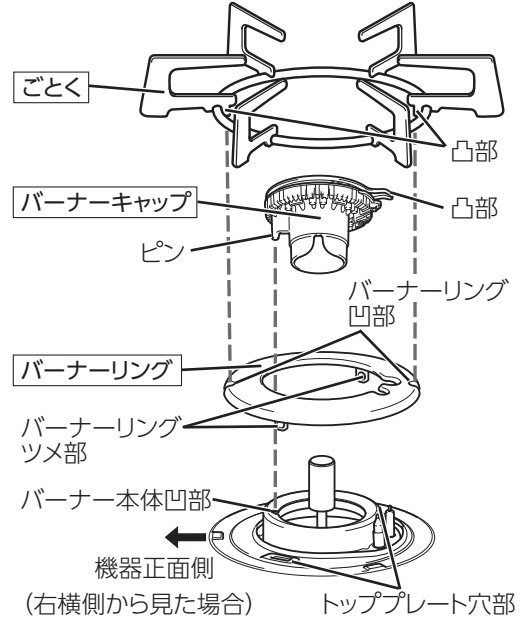
● 用途に適した防熱板を正しく取り付けてください。
● 取り付けかたは、別売の防熱板に同梱されている説明書をご覧ください。
● 防熱板は、お買い上げの販売店、またはもよりの当社事業所にお問い合わせください。

2 包装材やテープ類を取り除く

● 操作部の表面に透明の保護シートが貼られている場合は、ご使用前にはがしてください。
● グリルを取り出し、中の包装材やテープ類をすべて取り除いてください。

3 機器を組み立てる

※図は左コンロが強火力バーナーの機器で説明しています。

各部品を正しく取り付けてください。

⚠ 注 意

■バーナーキャップは誤った取り付けで使用しない

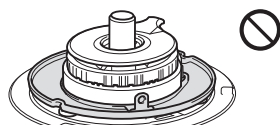
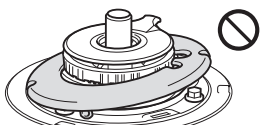
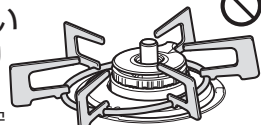
- 点火しない場合があります。
- 炎のふぞろいや逆火で不完全燃焼、一酸化炭素中毒のおそれやバーナーキャップが変形する場合があります。
- 機器の中に炎がもぐりこんで、焼損する原因になります。

バーナーキャップの浮き

バーナーキャップの裏返し

■ごとく、バーナーリングは誤った取り付けで使用しない

- 点火しない場合があります。
- がたついて、鍋が不安定になり危険です。

ごとくの浮き

バーナーリングの浮き

バーナーリングの裏返し

■バーナーリングは必ず取り付けて使用する

取り付けずにごとくを直接取り付けると、がたついて、鍋が不安定になり危険です。

強火力バーナー・標準バーナー

バーナーリング

バーナーリングツメ部をトッププレート穴部に合わせて、バーナーリングの浮きのないように取り付けてください。

バーナーキャップ

凸部を後にしてバーナー本体前側の凹部にバーナーキャップのピンを正しく取り付けてください。

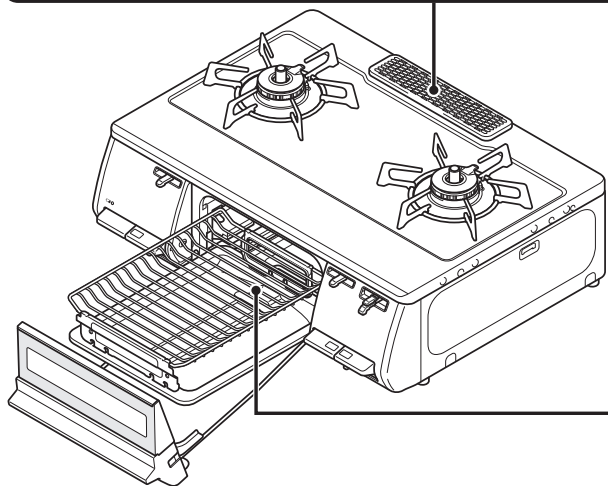
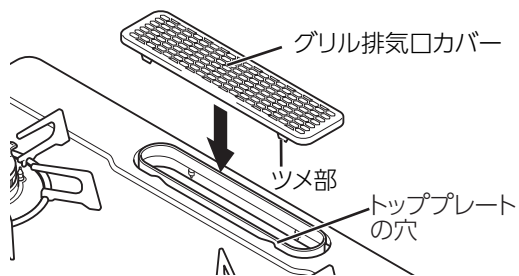
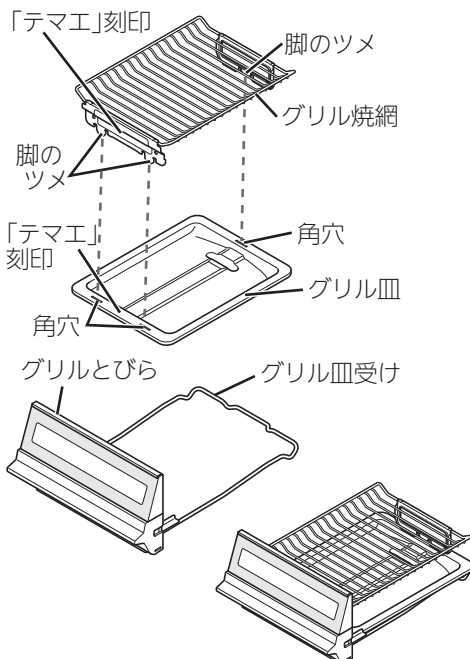
ごとく

バーナーリングの前後 2 カ所の凹部にごとくの内側の凸部 2 カ所を合わせ、正しく取り付けてください。

お願い

- バーナーキャップ、バーナーリング、ごとくは消耗部品です。バーナーキャップは厚みが薄くなったり、変形して炎がふぞろいになった場合は交換してください。お買い上げの販売店、またはもよりの当社事業所にお問い合わせください。 ☞ 55 ページ

グリル排気口カバー

ツメ部をトッププレートの穴に合わせて取り付けてください。

グリルとびら・グリル皿 グリル焼網・グリル皿受け

- グリル皿の「テマエ」刻印を手前にして、グリル皿受けにグリル皿がしっかり入るように取り付けてください。
- グリル焼網の「テマエ」刻印を手前にして、脚のツメをグリル皿の角穴に、確実に取り付けてください。

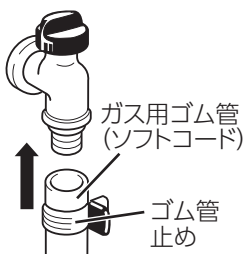
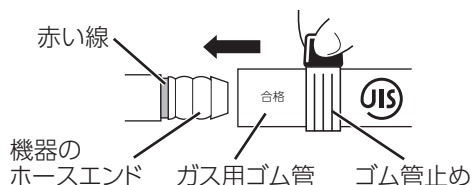
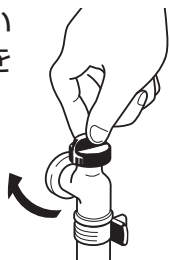
お願い

- 正しく取り付けないと、グリルとびらが閉まりにくくなります。無理に閉めると破損するおそれがありますので、正しく取り付け直してください。

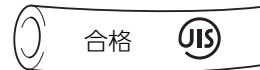
4 機器を接続する

ガス栓に合わせて正しく接続してください。

ガス用ゴム管で接続する場合

1 ホースエンドの赤い線までしっかりと差し込み、ゴム管止めで固定する。

2 ガス栓を開け、接続部からガスの臭いがしないことを確認したら、ガス栓を閉める。

■用意するもの

- ガス用ゴム管〈ソフトコード〉(内径 9.5 ㎜ φ・検査合格マークまたは JIS マーク入り)(市販品)

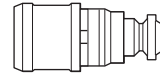
- ゴム管止め (2 個)(市販品)

⚠ 警　告

■ガス用ゴム管(ソフトコード)、ガスコードは高温部に触れたり、折れたり、ねじれた状態で使用しない

できるだけ短くして使用してください。

ガスコードで接続する場合

機器に器具用スリムプラグを取り付け、
ガスコードで接続する。

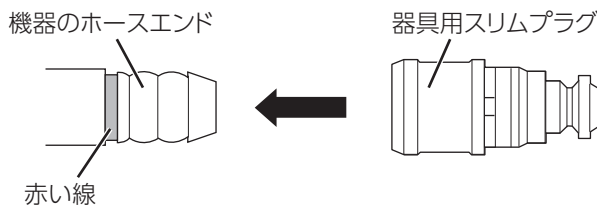
ガス栓
（ガスコンセント）

お願い

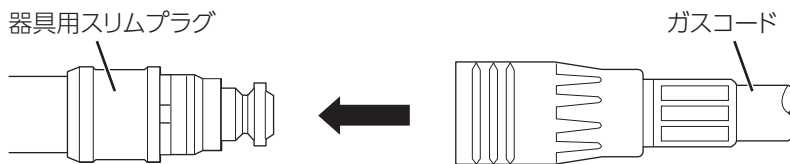
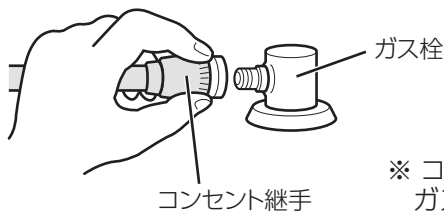
- ガステーブル用のガス栓であることを確認してください。
- ガス栓側がコンセント接続口になっていないと接続できません。ガス栓が機器と同じホースエンド接続口の場合は、市販のホースガス栓用プラグが必要です。
- 接続するときは、各接続部に汚れやゴミがないことを確認してください。

■用意するもの

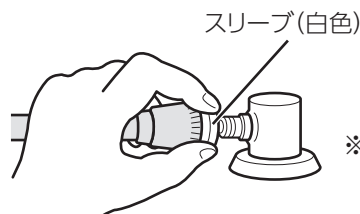
- 器具用スリムプラグ
  （市販品）

- ガスコード（市販品）

1 器具用スリムプラグを機器のホースエンドに取り付ける。

※器具用スリムプラグの梱包台紙の裏面に記載してある取扱説明書に従って、正しく取り付けてください。

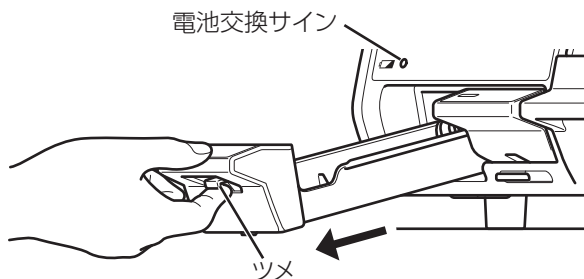
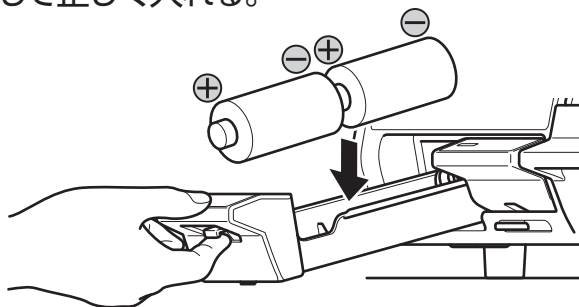
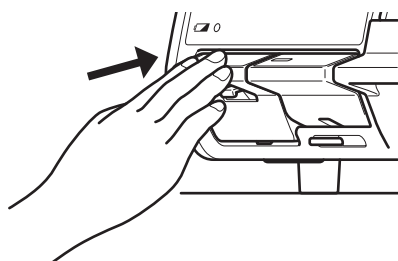
2 ガスコードを機器に接続する。
ガスコードを器具用スリムプラグに「カチッ」と音がするまで差し込む。

3 ガスコードをガス栓に接続する。
コンセント継手をガス栓に「カチッ」と音がするまで差し込む。

※ コンセント継手を差し込むと、
ガス栓が開きます。

■ガス栓を閉めるときは

コンセント継手のスリーブ（白色）を
手前に引きます。

※ コンセント継手がはずれると、
ガス栓が閉まります。

乾電池を入れる

付属の単１形アルカリ乾電池（1.5V）２個を電池ケースに入れます。

1 電池ケースのツメをつまんで手前に引き出す。

2 電池ケースに表示してある⊕、⊖を確認して正しく入れる。

3 電池ケースを奥までしっかり押し込む。

乾電池交換の目安は１年です

- 乾電池の交換時期が近づくと、電池交換サインが点滅します。新しい単１形アルカリ乾電池（1.5V）２個を準備してください。
- 電池交換サインが点灯したら、乾電池が消耗しています。新しい単１形アルカリ乾電池（1.5V）２個と交換してください。
  乾電池がなくなると点火できなくなりますので、注意してください。

⚠ 警　告

■乾電池は充電・分解・加熱・火の中へ投入しない

■新旧・異種の乾電池は混用しない

■機器を廃棄する場合は、乾電池をはずす

ショートや発熱、液漏れ、破裂により、けがややけどの原因になります。

■乾電池に記載してある注意事項をよく読み、正しく使う

お願い

- 電池ケースは取りはずせません。無理に引っ張ったり、押さえたりしないでください。
- 電池ケースに水などの異物が入った場合は、接触不良の原因となります。ふき取ってきれいにしてください。
- 交換時は機器が冷めていることを確認し、必ず新しい単1形アルカリ乾電池（1.5V）を2個同時に入れてください。
- 単１形アルカリ乾電池（1.5V）でも使用状況・使用期間・乾電池製造メーカー・種類が異なると交換時期が１年以内と短くなります。また、単１形マンガン乾電池（1.5V）を使用した場合も交換時期が極端に短くなります。
- 未使用の乾電池でも「使用推奨期限（月、年）」を過ぎている場合は放電により、短時間で電池交換サインが点滅・点灯する場合があります。また、付属の単１形アルカリ乾電池（1.5V）は、工場出荷時期により寿命が短くなっている場合があります。
- 単２、単３形乾電池を単１形サイズにする電池スペーサーや充電式単１形乾電池は電池ケースの⊖端子が接触せず、使用できない場合があります。また、使用できた場合でも交換時期が極端に短くなります。

知っておいていただきたいこと

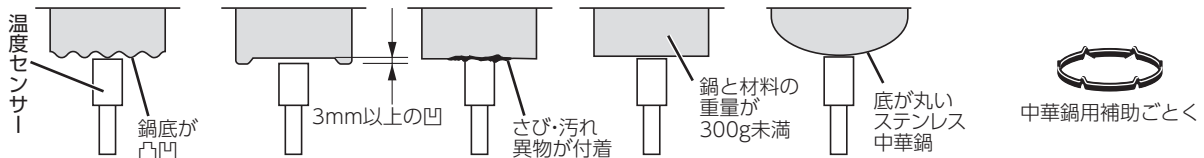
温度センサーについて

- 温度センサーを正しくはたらかせるために、必ずお読みください。

⚠ 警告

■温度センサーの上面と鍋底が密着していないときは使用しない

- 温度センサーが鍋底の温度を正しく検知できずに、発火や途中消火、機器焼損の原因になります。
- 中華鍋用補助ごとくを使用すると、温度センサーが鍋底に密着しない原因になります。

中華鍋用補助ごとく

■耐熱ガラス容器、土鍋など熱の伝わりにくいもの、底が浅く広い鍋での油調理はしない

油の温度が上がりやすく発火するおそれがあります。

耐熱ガラス容器

土鍋

底が浅く広い鍋

鍋の選びかた

炊飯モードに適した鍋については、☞ 34 ページをご覧ください。

鍋の種類			揚げもの調理（油の量 200ml以上）炒めもの調理	その他の調理	温度設定モード 揚げもの調理（油の量 500ml〜1L）	湯わかしモード（水の量 500ml〜2L）
鍋 フライパン	材質：アルミ、銅、鉄 ホーロー		○	○	○	○
	材質：ステンレス	※厚手	○	○	○	○
		※薄手	×	○	×	○
中華鍋	材質：アルミ、銅、鉄		○	○	○	—
	材質：ステンレス（底が平らなもの）	※厚手	○	○	○	—
		※薄手	×	○	×	—
無水鍋 多層鍋			○	○	×	○
土鍋 耐熱ガラス容器 圧力鍋			×	○（ただし、火が消える場合があります。）	×	×
やかん			—	○	—	○

※厚手：2.5mm 以上　薄手：2.5mm 未満

○：適しています
×：適していません
（温度を正しく検知できません。）

お願い

中華鍋を使うときは

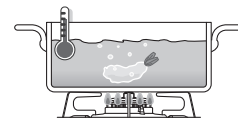
- 必ず取っ手を持って調理してください。
- 鍋底と温度センサーが密着していることを確かめてから使用してください。
- 中華鍋の種類によっては、鍋が安定せず、温度センサーが正しくはたらきません。

安全機能

天ぷら油の過熱を未然に防止

天ぷら油過熱防止機能

強火力バーナー　標準バーナー

調理油が過熱されると、自動で火力調節し発火を防ぎます。
この状態が約 30 分続くか、または弱火の状態でも温度の上昇が続くと、自動で火を消します。

炎が消えるとガスを自動でストップ

立消え安全装置

強火力バーナー　標準バーナー　グリル

煮こぼれや風などで火が消えると、自動でガスを止めます。

万一消し忘れても一定時間で自動消火

コンロ消し忘れ消火機能

強火力バーナー　標準バーナー

コンロバーナーは点火後、約 2 時間で自動で火を消します。
コンロ消し忘れ消火機能の時間は変更することができます。☞ 23 ページ

グリル消し忘れ消火機能

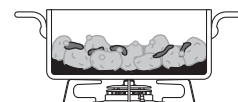
グリル

点火するとタイマーが作動します。
最長 15 分で自動で火を消します。☞ 39 ページ

煮ものなどで焦げついた場合、初期段階で自動消火

焦げつき消火機能

強火力バーナー　標準バーナー

煮もの調理などで鍋底が焦げつくと、自動で火を消します。
鍋の材質、調理物の種類、火力によって焦げの程度は異なります。
※鍋底にこんぶや竹皮などを敷いた調理では焦げつき消火機能が正常にはたらかないことがあります。

誤ってボタンが押されるのを防止

点火ロック

強火力バーナー　標準バーナー

幼いお子様のいたずらや不注意からの点火を防ぎます。☞ 26 ページ

点火時の炎あふれを防止

中火点火機能 強火力バーナー

点火時の炎あふれを抑えるために、中火で点火します。☞ 25 ページ

グリル庫内が過熱すると自動消火

グリル過熱防止センサー グリル

魚などの調理物を入れずに空焼きした場合や、グリル庫内の温度が異常に高くなった場合に自動で火を消します。

万一操作ボタンを戻し忘れてもブザーでお知らせ

コンロ・グリル操作ボタン戻し忘れお知らせ機能 強火力バーナー 標準バーナー グリル

タイマーや便利機能を使って、自動で火が消えたり、安全機能により火が消えたときに、操作ボタンを戻し忘れると、1分ごとにブザーが「ピピッ」と5回鳴ってお知らせします。乾電池が消耗するので、すぐに操作ボタンを戻してください。
ただし、他のバーナーを使用中は、ブザーは鳴りません。

鍋底が高温になると自動で弱火になり、異常過熱を防止

高温自動温度調節機能 強火力バーナー 標準バーナー

炒めもの調理・いりもの調理など比較的温度の高い調理や、鍋の空焼きをしたときに強火・弱火と自動で火力調節し、鍋の異常過熱を防止します。
この状態が約 30 分続いた場合、または弱火状態でもセンサー温度がさらに上昇した場合は、自動で火を消します。最初に弱火になったとき、ブザーが「ピピッ」と 1 回鳴ってお知らせします。調理に支障があるときは、高温炒めモード（強火力バーナー）をお使いください。☞ 29 ページ

各種設定の変更

以下の機能の設定を変更することができます

- コンロ消し忘れ消火機能時間……購入時は 2 時間「- -」に設定されています。
- 湯わかしモードお知らせ時間……お知らせ時間が早く感じたり遅く感じたりする場合、1 ～ 5 の 5 段階にお知らせのタイミングを設定することができます。
  購入時は「3」の設定されています。
- ごはんモード……少量炊飯でごはんへの着色（焦げ）が気になる場合、または炊き不足を感じる場合、炊き加減を 3 段階で調節します。購入時は「2」に設定されています。

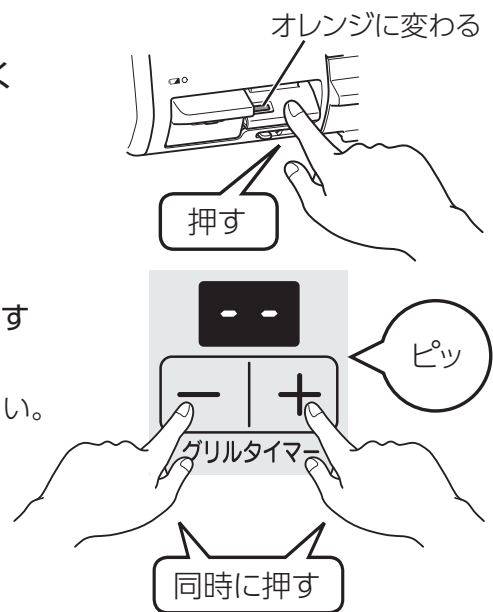
※図は左コンロが強火力バーナーの機器で説明しています。

【共通操作】

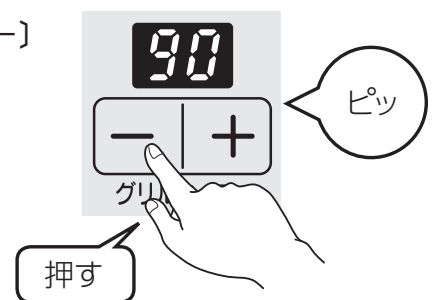
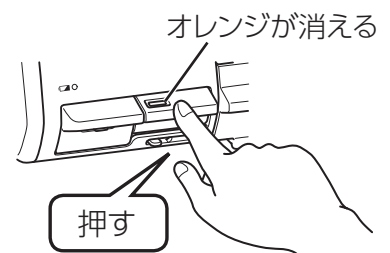
各種設定を変更する前に行ってください。

❶ 水を入れた鍋を強火力バーナー側のごとく中央に置く

❷ 強火力バーナーを点火する

❸ **点火後 10 秒以内**
グリルタイマーセットスイッチ〔+／−〕を同時に押す
ブザーが鳴るまで 3 秒以上押し続けます。
※ ❸ の操作後、15 秒以内に以下の操作を行ってください。

コンロ消し忘れ消火機能時間の変更

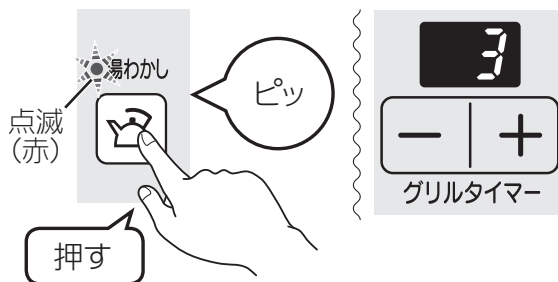
強火力バーナー　標準バーナー

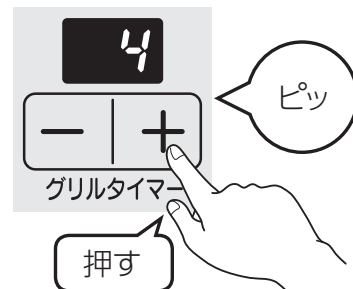
1 共通操作 ❶ ～ ❸ 後、グリルタイマーセットスイッチ〔+／−〕を押す。
30 ～ 90 分の間で 10 分刻み、および 2 時間に設定できます。
- ［+］スイッチ押し：最長 2 時間「- -」
- ［−］スイッチ押し：最短 30 分「30」

2 操作ボタンを押して消火の状態にする。
設定した時間に変更されます。

お知らせ

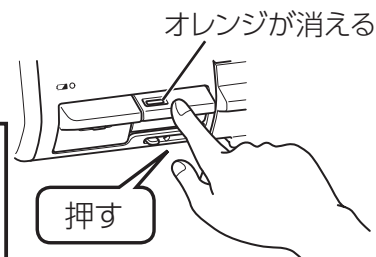
- すべてのコンロバーナーが同じ設定時間になります。バーナーごとには設定できません。

湯わかしモードお知らせ時間の変更

標準バーナー

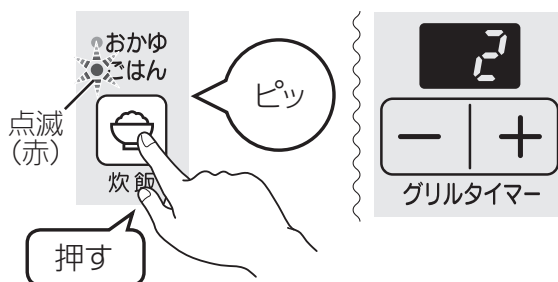
1 共通操作 ❶～❸ 後、湯わかしスイッチを押す。
グリルタイマー表示部に「3」が表示されます。

2 グリルタイマーセットスイッチ〔＋／－〕を押す。

グリルタイマー表示部	1	2	3	4	5
設定内容	沸とうのお知らせを早くしたい場合	⟷	標準（購入時）	⟷	沸とうのお知らせを遅くしたい場合

3 操作ボタンを押して消火の状態にする。
設定したお知らせのタイミングに変更されます。

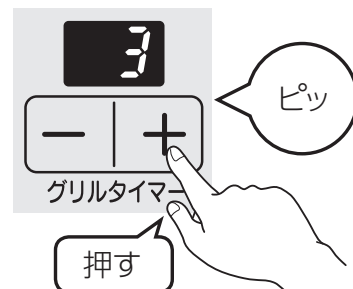
お願い

- やかんや鍋の形状・材質や水の量によって、お知らせ時間が異なります。そのため、お使いになる鍋などによっては、極端にお知らせ時間が早くなりすぎたり、遅くなりすぎたりする場合があります。設定を変更する場合は、2 または 4 から設定してください。それでもなお、早くしたい場合や遅くしたい場合は、1 または 5 に設定してお使いください。
- 同じやかん（鍋）を使用しても水の量によってお知らせ時間が異なる場合があります。

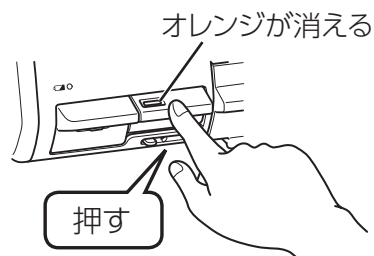
ごはんモードの変更

標準バーナー

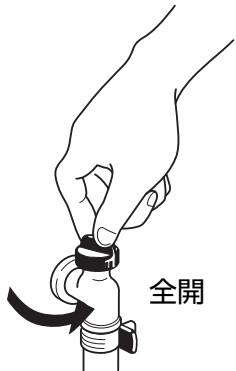
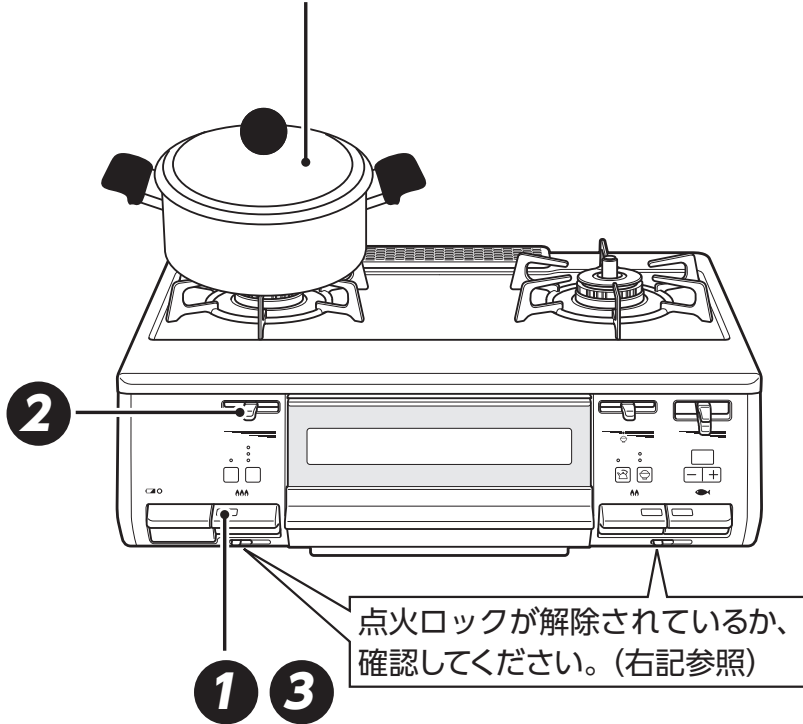
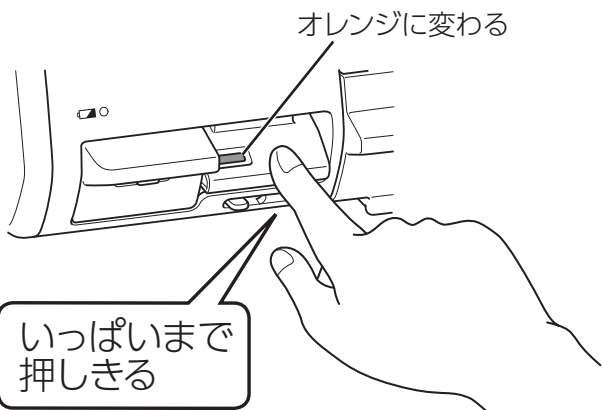
1 共通操作 ❶～❸ 後、炊飯スイッチを押す。
グリルタイマー表示部に「2」が表示されます。

2 グリルタイマーセットスイッチ〔＋／－〕を押す。

グリルタイマー表示部	1		2		3
設定内容	ごはんへの着色（焦げ）が気になる場合	⟷	標準（購入時）	⟷	※ 炊き不足を感じる場合

※ごはんが硬かったり、かんで粉っぽさを感じる場合。

3 操作ボタンを押して消火の状態にする。
設定した炊き加減に変更されます。

各種設定の変更

基本の操作 （コンロの使いかた）

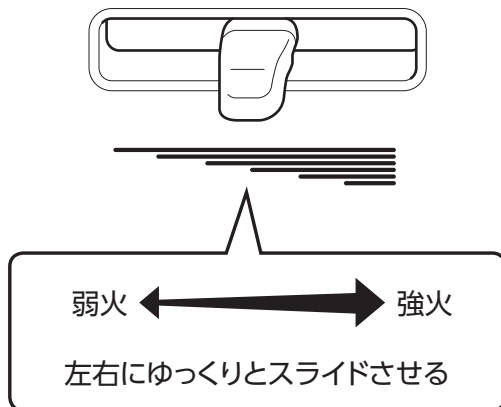
準 備

ガス栓を開く

ごとくの中央に鍋を置く

1 点火する

- 操作ボタンで点火する。

お知らせ

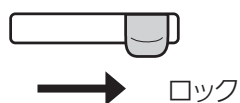
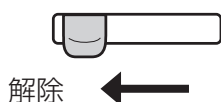
- 点火のとき、火力調節つまみは標準バーナーは「強火」の方向に、強火力バーナーは中央の位置に移動します。
  (中火点火機能) ☞ 22 ページ

2 火力調節する

- 火力調節つまみをスライドさせ、鍋の大きさに応じた火力にする。

お知らせ

- 火力調節つまみを速く操作すると、火が消えたり、炎が一瞬大きくなる場合があります。

不用意な点火を防ぐには（点火ロック）

幼いお子様のいたずらや誤操作を防ぐため、操作ボタンをロックすることができます。点火ロックつまみは、左コンロ用と右コンロ・グリル用が左右にあり、点火ロックつまみを左右に動かすことにより、解除／ロックができます。☞ 21 ページ

炒めもの、いりもの、あぶりものをするときは

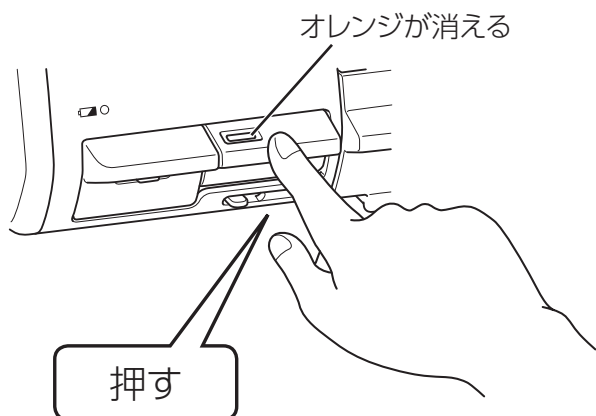
高温炒めモードに設定して調理してください。☞ 29 ページ
安全機能がはたらく温度を一時的に高くし、高温炒めモードに設定してから、最長 60 分（最初に自動で弱火になってから約 30 分）高温で調理できます。

揚げものをするときは

温度設定モードで調理してください。
☞ 27 ページ
※温度設定モードを使わないと、天ぷら油過熱防止機能がはたらき、調理中に自動で火が消えることがあります。

3 火を消す

● 操作ボタンで火を消す。

お願い

● 必ず火が消えたことを確認してください。

4 ガス栓を閉める

● 調理が終わったら、ガス栓を閉める。

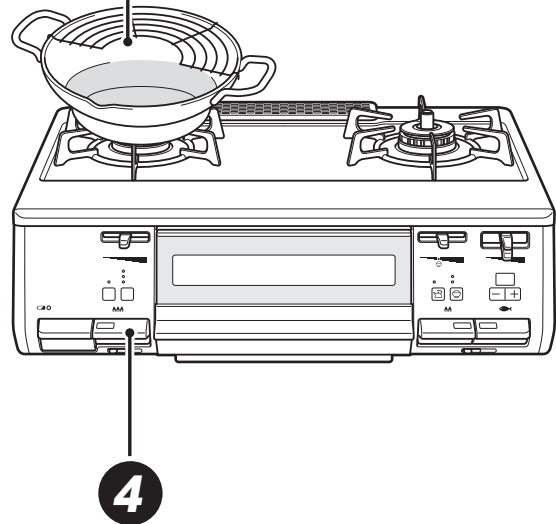
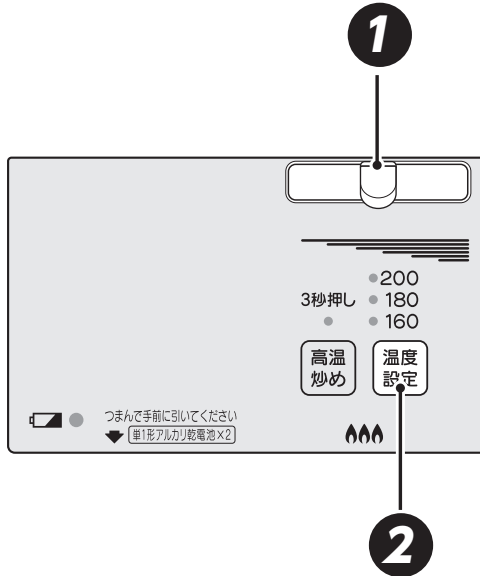
お願い

● 調理後は高温のため機器に触れるとやけどのおそれがあります。必ず機器が冷めていることを確認してください。

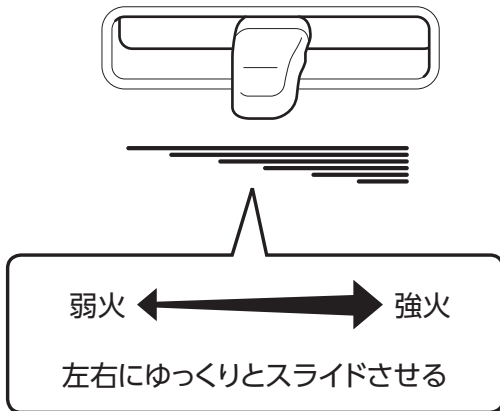
揚げものをする（温度設定モード）

● 油の温度を一定に保ちながら、揚げものを調理できます。

適した油の量：500ml〜1L

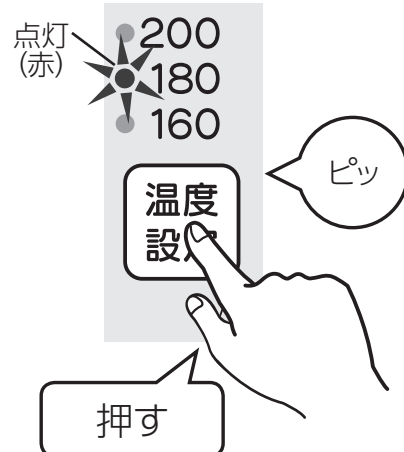
ごとくの中央に鍋を置く

※図は左コンロが強火力バーナーの機器で説明しています。

点火後、火力調節する

● 鍋の大きさに応じた火力にする。

お願い

- 温度設定モードを使う場合、調理に適した油の量は 500ml 〜 1Lです。
- 温度設定モードを使わない場合は、必ず200ml以上の調理油で行ってください。

2 温度設定する

● 最初は 180℃に設定されます。

● 押すたびに、次のように切り替わります。

● 設定温度は調理中でも変更できます。

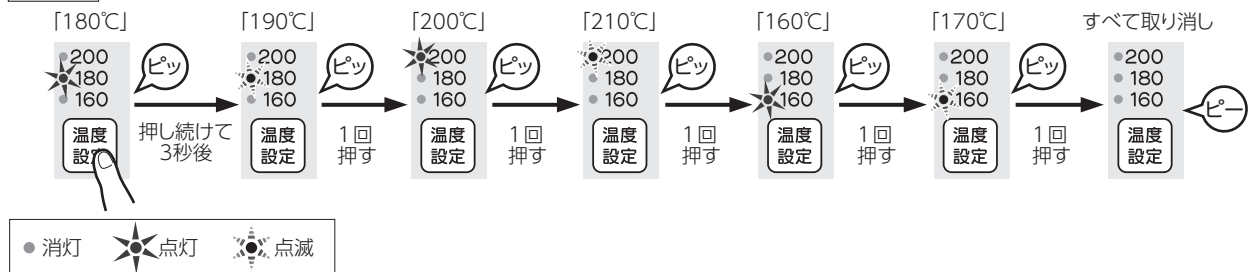
ワンポイント

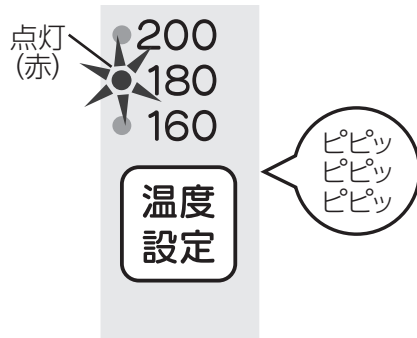
● 揚げもの調理以外の火加減が難しい焼きもの調理も簡単に作れます。

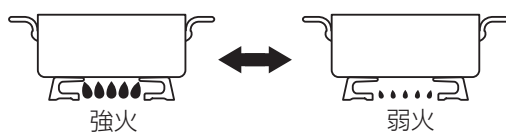
設定温度の目安

とりのから揚げ、ホットケーキ	160℃
天ぷら、コロッケ、焼きギョーザ、お好み焼き	180℃
クルトン、かきもち揚げ	200℃

● 鍋の種類・材質や厚さ、油の量などにより、設定した温度と異なる場合があります。
温度設定は、天ぷら用鉄鍋での揚げもの調理時の油の温度で、設定してあります。

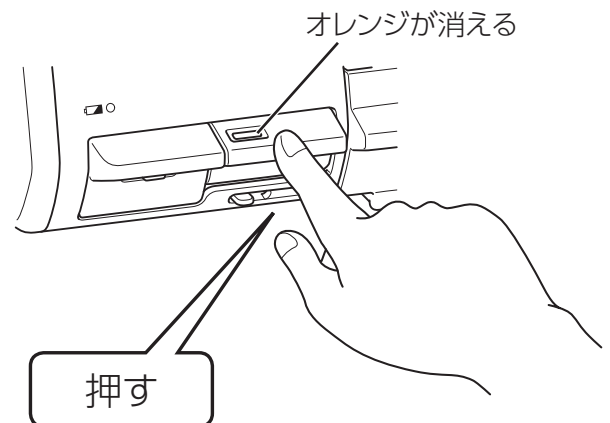
● 温度設定スイッチを押し、「180℃」の温度設定ランプを点灯させ、そのまま約3秒押し続けることで、10℃刻みの設定ができます。

3 調理する

● 設定温度になると、ブザーでお知らせします。
調理をはじめてください。

お知らせ

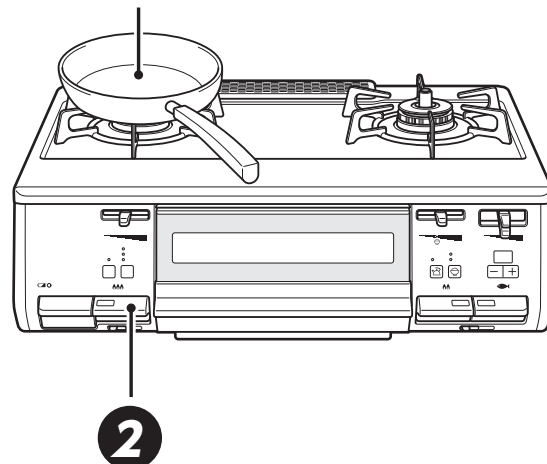
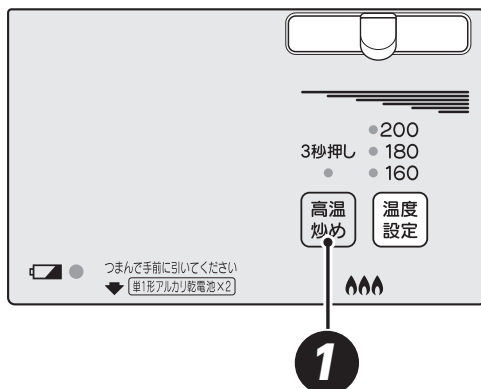
● 調理中は自動で強火・弱火を繰り返して、設定温度を保ちます。

● 調理中に火が消えた場合は、設定温度が取り消されます。再度操作 1 から行ってください。

4 火を消す

● 操作ボタンで火を消す。

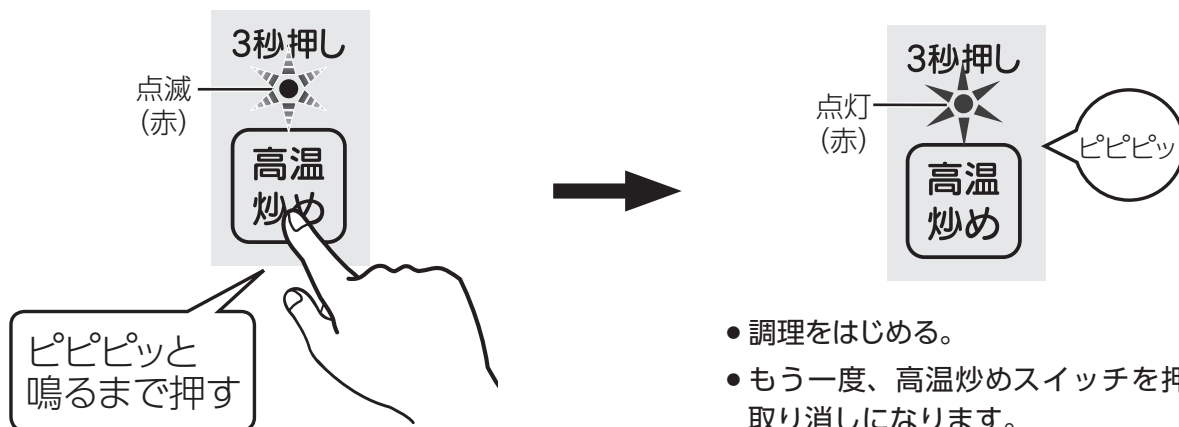
お願い

● 必ず火が消えたことを確認してください。

炒めもの・いりものをする

- 高温炒めモードを使用すれば、通常より高い温度で使用できます。
  「天ぷら油過熱防止機能」「焦げつき消火機能」を一時的に解除します。

※図は左コンロが強火力バーナーの機器で説明しています。

3 秒以上

点火後、高温炒めスイッチを押す

- ランプが点滅から点灯に変わり、ブザーが鳴るまで 3秒以上押す。

- 調理をはじめる。
- もう一度、高温炒めスイッチを押すと取り消しになります。

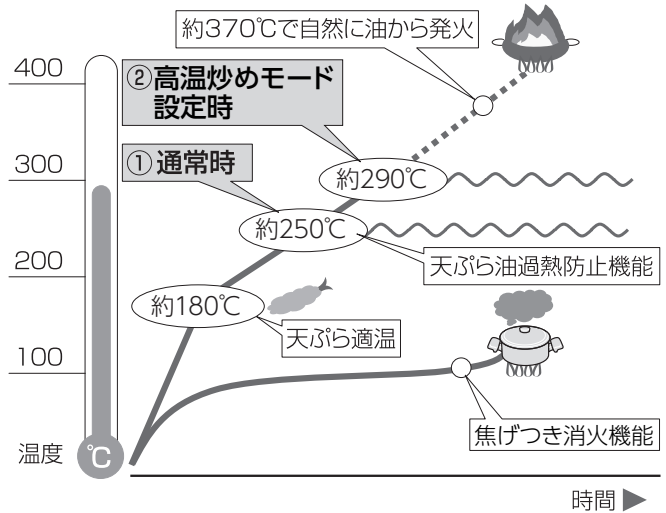
お願い

- 加熱したフライパンなどに少量の調理油しか入れない場合は、油の温度が急激に上がり、発火のおそれがありますので注意してください。

お知らせ

- 火が消えると、高温炒めモードは取り消されます。

こんなとき 高温炒めモード

●急に火が小さくなったり、消えてしまう場合。

温度センサーのはたらき

①通常時

温度センサーのはたらきにより、炒めものやいりものなど比較的温度の高い調理や、鍋の空焼きをしたときに、強火・弱火を自動で調節したり、自動で火を消したりします。

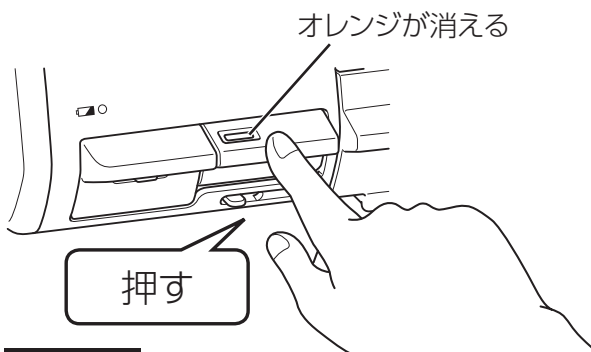
②高温炒めモード設定時

高温炒めモードは温度センサーがまったくはたらかなくなる機能ではなく、①通常時よりも高い温度まで調理できる機能です。高温炒めモードを使用した場合でも、鍋の異常過熱を防ぐために、強火・弱火を自動で調節したり、自動で火を消したりします。高温炒めモードに設定してから、最長 60 分（最初に自動で弱火になってから約 30 分）で、自動で火を消します。ただし、点火してからコンロ消し忘れ消火機能の作動時間になった場合は、自動で火を消します。

高温炒めモード設定中は、焦げつき消火機能や天ぷら油過熱防止機能ははたらきません。

② 火を消す

● 操作ボタンで火を消す。

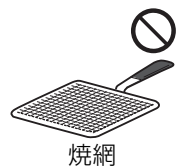
お願い

● 必ず火が消えたことを確認してください。

⚠ 警告

■高温炒めモードで揚げもの調理をしない

調理油の温度が高くなり、発火するおそれがあります。

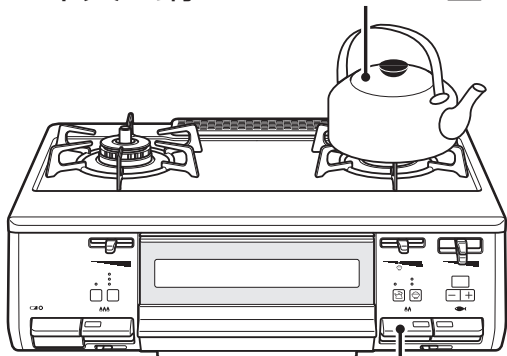
■焼網は使用しない

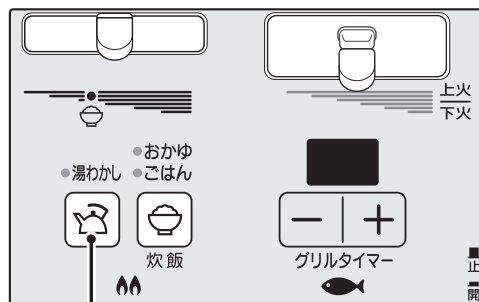
トッププレートに落ちた油などが発火したり、機器の異常過熱のおそれがあります。

⚠ 注意

■あぶり調理をする場合は温度センサーの真上は避ける

温度センサー上に焼き汁などが滴下して温度センサーが汚れると、鍋底の温度を正しく検知できずに発火や途中消火、機器焼損の原因になります。また、焼き汁の滴下量や位置により、温度センサー故障の原因になります。

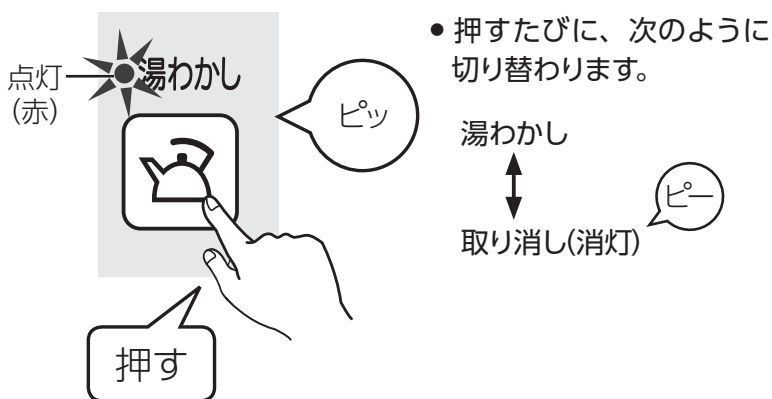
お湯をわかす （湯わかしモード）

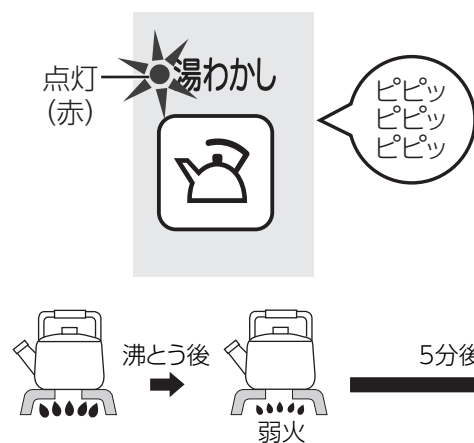
- お湯がわいたらお知らせし、自動で火を消します。

水の量：500ml〜2L
※ふきこぼれを防ぐため、やかんや鍋の大きさに応じた水の量（最大容量の6〜7割）にしてください。

ごとくの中央に鍋またはやかんを置く

※図は左コンロが強火力バーナーの機器で説明しています。

1 点火後、湯わかしスイッチを押す

- 押すたびに、次のように切り替わります。

湯わかし
↕
取り消し(消灯)
ピー

2 沸とうして5分後に、

- 沸とうすると、ブザーでお知らせし、自動で弱火になります。

お知らせ

- 沸とうして弱火になると火力調節はできません。

【標準バーナー】

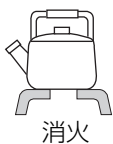
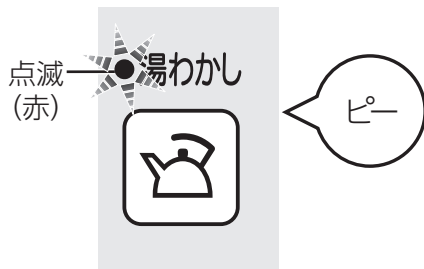
お願い

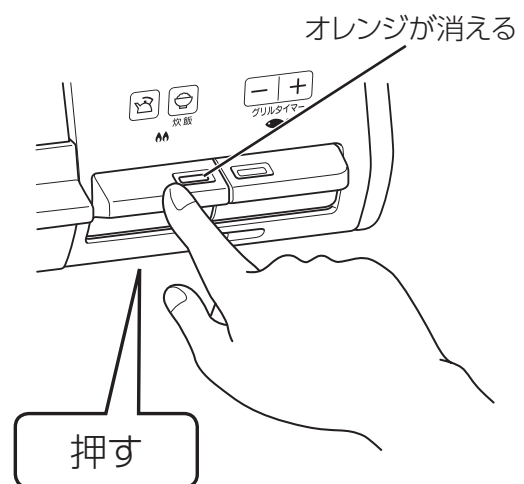
- やかんや鍋の形状・材質や水の量によって、お知らせ時間が異なる場合や、ふきこぼれる場合があります。やけどなどに注意してください。
- 温度センサーを正しくはたらかせるために、次のことを守ってください。
  - ・ふたを開け閉めしない　・水をかき混ぜない　・やかんや鍋を動かさない
  - ・水を追加しない　・具を入れない　・火力を変えない
- 火力はやかんや鍋の径に合わせて炎があふれないように調節してください。

お知らせ

- 以下の場合は、100℃になる前に沸とうしたと判断される場合があります。
  - ・一度わかしたお湯（約70℃以上）を再び湯わかしモードでわかしたとき
  - ・やかんや鍋などの底が汚れていたり、さびていたりするとき
- 湯わかしモードお知らせ時間を変更することができます。 ☞24ページ

自動で火が消える

- 5 分後、ブザーでお知らせします。

❸ 操作ボタンを戻す

- 操作ボタンを押して消火の状態にする。

ごはん・おかゆを炊く（炊飯

おいしく炊くコツ

1 お米は正確にはかる。

180mlの計量カップを使うと便利です。

2 たっぷりの水で手早くとぐ。

- **はじめのとぎ水は、すぐに捨ててください。**
  ぬかを含んだとぎ水をお米が吸わないようにするためです。
- **「とぐ → 洗い流す」を数回繰り返します。**
  にごりがうすくなるまで、手早く洗ってください。

お知らせ

- お米のとぎが足りない場合は、におい・黄ばみ・焦げの原因になります。

1 回で炊ける量

ごはん	1～5合
炊きこみごはん	1～4合
全がゆ	0.25～1　合
七分がゆ	0.25～0.5合

お米と水の量の目安

お米の量		水の量		
		ごはん	おかゆ	
容量	合数(重量)		全がゆ	七分がゆ
45ml	0.25合(約 38g)	−	360ml	470ml
90ml	0.5 合(約 75g)	−	540ml	630ml
180ml	1 合(約150g)	300ml	900ml	−
270ml	1.5 合(約225g)	390ml	−	−
360ml	2 合(約300g)	480ml	−	−
450ml	2.5 合(約375g)	580ml	−	−
540ml	3 合(約450g)	670ml	−	−
720ml	4 合(約600g)	930ml	−	−
900ml	5 合(約750g)	1130ml	−	−

お願い

- 水の量は目安です。好みに応じて加減してください。
- 炊きこみごはんの場合は、ごはんに比べ約 1 割増の水の量（調味料・だしを含む）にしてください。

お米を水に浸す時間

お米の種類		水に浸す時間	
		春～夏	秋～冬
ごはん	白米	30分以上	60分以上
	無洗米		
	発芽玄米		
	胚芽精米	60分以上	90分以上
	雑穀米		
	古米		
	麦ごはん		
おかゆ		0 ～30分	

ワンポイント

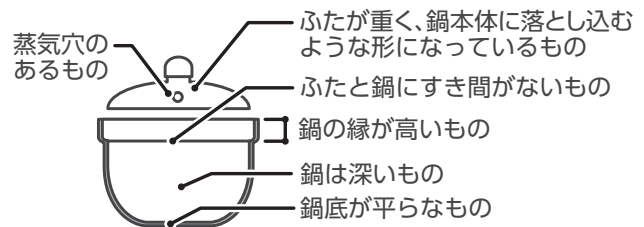
- 洗米した後、必ず 30 分以上水に浸してから炊飯してください。
- 洗米してすぐのお米は、炊飯するとごはんが硬くなります。
- 一度水に浸したお米は、砕けやすくなります。砕け米が混じったり、お米をとぎ足りない場合は、におい、黄ばみ、炊飯がうまくできない原因になります。

無洗米を炊くときのコツ

- 1、2 度すすいでください。
  にごったまま炊飯するとでんぷん質が沈殿し、生炊きの原因になります。
- 十分に水に浸してください。
- 水の量を3％程多くしてください。または無洗米専用計量カップを使ってください。
- よくかき混ぜて気泡をとばしてください。
  表面に気泡ができると、水が吸収されず、生炊きの原因になります。

炊飯モードに適した鍋

おいしく炊くために、炊飯モードに適した鍋を選びましょう。

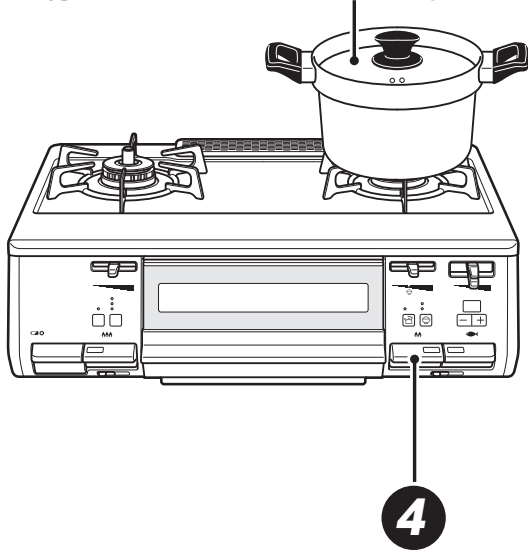
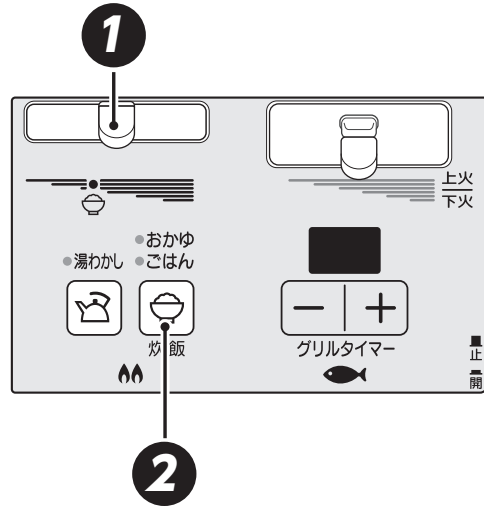
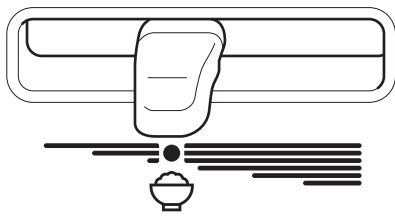
※炊飯専用かま、炊飯専用鍋も別売しています。
☞ 55ページ

炊飯鍋の選びかた

鍋の種類		ごはん	おかゆ	炊飯量・ポイント
別売の炊飯専用かま	RTR-03E	○	○	白米3合、全がゆ0.5合 炊きこみごはん2合
別売の炊飯専用鍋	RTR-300D1	○	○	白米3合、全がゆ1合、七分がゆ0.5合 炊きこみごはん2合
	RTR-500D	○	○	白米5合、全がゆ1合、七分がゆ0.5合 炊きこみごはん4合
アルミの鍋		※○	※○	薄手（2mm以下）の場合は焦げつきやすくなります。
ホーロー、ステンレスの鍋		※○	※○	白米は焦げる場合があります。 薄手（2.5mm以下）のステンレスの鍋の場合は焦げつきやすくなります。
土鍋		×	※○	おかゆ以外は炊けません。
ガラス鍋 圧力鍋・多層鍋		×	×	うまく炊けないので使用しないでください。

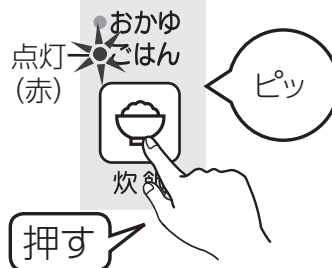
○：適しています　×：適していません（温度を正しく検知できません。）

※ ふたに蒸気穴がない場合や鍋の材質・形状によっては、焦げつきやふきこぼれなど、うまく炊けない場合があります。このような場合は、別売の炊飯専用かま、炊飯専用鍋をお使いください。☞ 55 ページ

ごはん・おかゆを炊く（炊飯

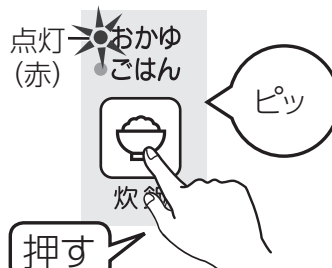
- ごはんやおかゆが炊けたらお知らせし、自動で火を消します。

※図は左コンロが強火力バーナーの機器で説明しています。

点火後すぐ 1 火力調節する

1回 2 炊飯スイッチを押す

ごはん

- 火力調節後、すぐごはんモードに設定する。
- 押すたびに、次のように切り替わります。

ごはん ──→ おかゆ

2回 2 炊飯スイッチを押す

おかゆ

- 火力調節後、すぐおかゆモードに設定する。
- 押すたびに、次のように切り替わります。

ごはん ──→ おかゆ

ワンポイント

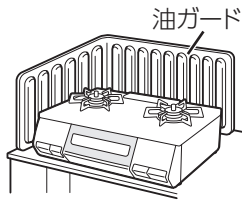
- 炊飯位置に合わせるときは、強の位置から合わせてください。
- 火力が炊飯位置より大きいとごはんは硬めに、火力が小さいとごはんはやわらかめに炊けます。

- 取り消すときは、いったん火を消してください。
- ごはんモードでの少量炊飯で、ごはんへの着色（こげ）が気になる場合、または炊き不足を感じる場合、炊き加減を3段階で調節が可能です。☞ 24 ページ

お願い

- 機器を囲う油ガードなどを設置すると排気の流れが変わり、燃焼不良となり炊きムラなどの原因になります。炊飯時は油ガードを取り除いてください。
- 炊飯開始後、一定時間が経過すると設定変更および取り消しはできなくなります。
- 取り消すときは、いったん火を消してください。
- あたため直しはできません。（焦げつくことがあります）
- 風が吹き込んでいたり、扇風機やエアコンなどの風が当たっていると、うまく炊けません。炎に風が当たらないようにして使用してください。

炊きこみごはんを炊くとき

- お米に水分を吸収させるため、調味料は炊く直前に入れてください。
- 具やバター、ケチャップなどの調味料はお米の上にのせて、炊きあがり後に混ぜてください。沈殿するとうまく炊けない場合があります。

おかゆを炊くとき

- 最初から塩などの調味料を入れたり、炊いている途中でかき混ぜたりしないでください。粘りがでたり米粒がつぶれうまく炊けない場合があります。
- ふきこぼれる場合はふたをずらしたり、持ち上げたりしてください。
- おかゆの炊きあがりで、水分の量が多い場合は再点火し、様子を見ながら火力調節してください。
- 炊きあがったごはんからおかゆ（雑炊）を作るときは、手動で調理してください。

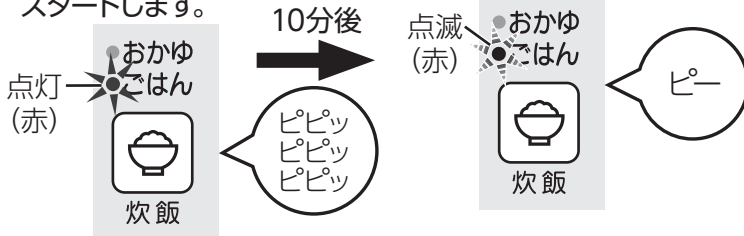
ワンポイント

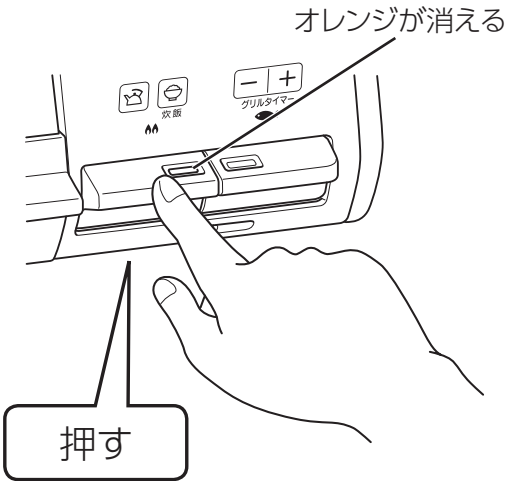
炊飯時間の目安

ごはん	28～37分（むらし10分を含む）
おかゆ	35～50分

むらし後は…
- ごはんを底からよくほぐしてください。余分な水分がとび、ごはんがおいしくなります。

3 炊きあがると自動で火が消え、むらしがスタート

- 炊きあがると、ブザーでお知らせし、むらしがスタートします。
- むらしが終了すると、ブザーでお知らせします。

4 操作ボタンを戻す

- 操作ボタンを押して消火の状態にする。

3 炊きあがると、自動で火が消える

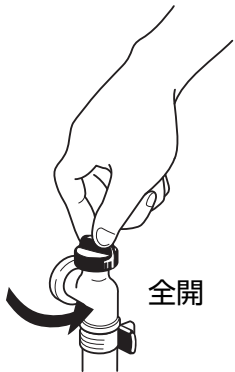
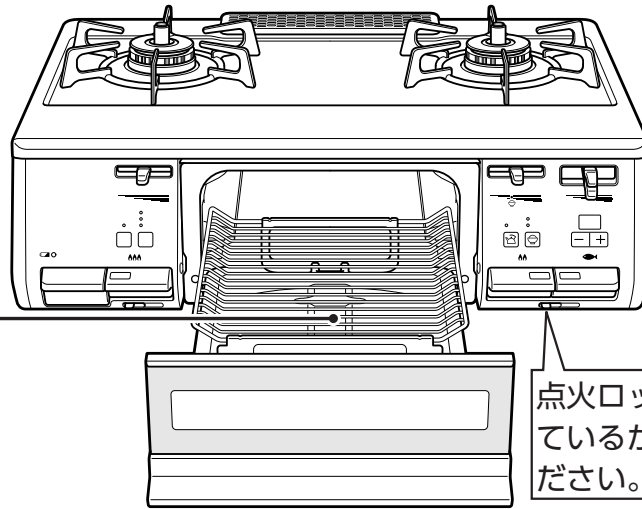
- 炊きあがると、ブザーでお知らせします。

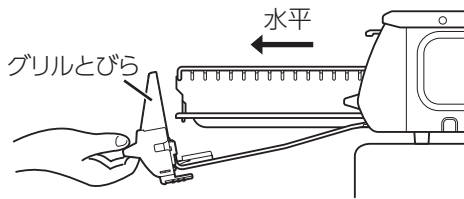
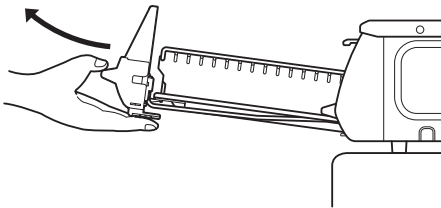
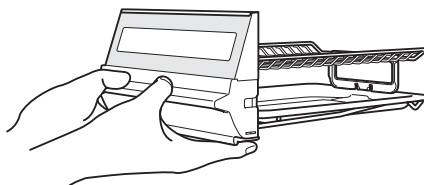
お知らせ

- ごはんをむらし中に操作ボタンを戻すと、むらし終了のお知らせブザーが鳴りません。

グリルの取り扱いと準備

準備

ガス栓を開く

グリルの取り出し

1 グリルとびらをゆっくりと止まるところまでいっぱいに引き出す。
(グリルとびらだけが下がります)

2 グリルを持ち上げて取り出す。

3 グリルとびらを両手でしっかりと持ち、ゆっくりと持ち運ぶ。

お知らせ

- グリルとびらを完全に引き出す前に持ち上げると、グリル皿に傷がついて、表面に施されたクリアコートがはがれる原因になります。
- グリルとびらを持ち上げながら引き出すと、止まらずにはずれてしまいます。
- グリルとびらやグリル皿受けをはずす場合は☞45ページをご覧ください。

グリルを初めて使うときは

1 グリル焼網を取り出す。

グリル庫内に紙や梱包部材が入っていないか確認して、すべて取り除いてください。

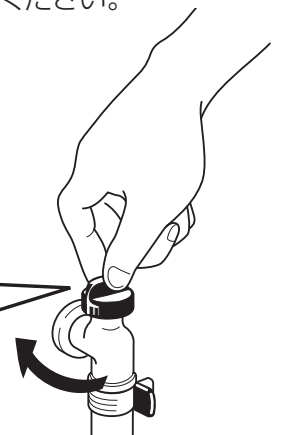
2 約5 分間空焼きをする。

部品に付着している加工油を焼き切ります。
火力は上火「強」・下火「強」で行ってください。
グリルの操作については ☞ 39 ページをご覧ください。

お願い

- グリル排気口や排気口以外からも煙が出ますが、異常ではありません。
- 空焼き時に、グリル過熱防止センサーがはたらき、自動で火が消える場合があります。(「02」と「-5」を交互に表示します。) この場合、5分程度待ってから、再度点火操作をしてください。

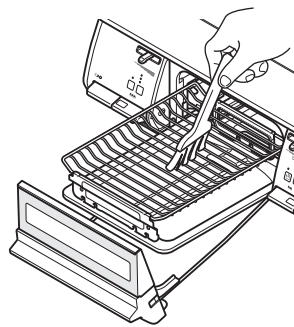
3 ガス栓を閉める。

使用後はガス栓を閉めてください。

魚を上手に焼くために

1 下ごしらえをする。

- 冷凍の魚は、しっかり解凍します。
- 冷蔵の魚は常温でしばらくおきます。
- 生魚は水洗いした後、水気をよくふき取ります。
- みそ漬けやかす漬けの魚は、「みそ」や「かす」をよくふき取ります。

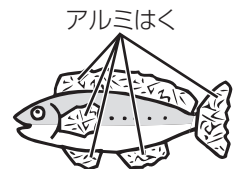
2 グリル焼網に油を薄く塗る。

ひと手間かけることで、くっつきにくくなります。

3 約1 ～2分間、空焼き（予熱）をする。

魚（食材）がグリル焼網にくっつきにくくなり、焼きあがり後、取り出しやすくなります。

ワンポイント

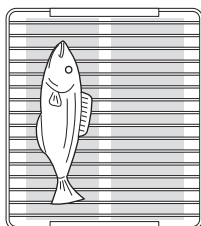
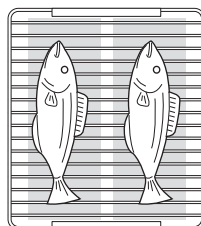
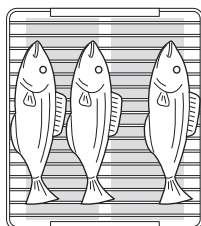
- 塩をつけると、身がしまって身くずれしにくくなります。
- さばやいわしなど背の青い魚は脂分が多いので、多めに塩をして時間をおき、身をしめます。白身魚は、塩を少なめにふり、時間も短めにします。
- 川魚やいか、えび、貝などは、焼く直前に塩をふります。
- 魚の重量の約 2%程度の塩をつけます。身の厚いところには厚く、薄いところには薄くつけます。
- 尾やひれは特に焦げやすいので、多めに塩をつけてください。また、アルミはくで包んでおくと、焦げかたが少なくなります。

- 包丁目（飾り包丁）を入れると、火の通りがよくなり、皮が破れることによる脂の飛び散りも少なくすることができます。

4 魚（食材）を置く。

■印のところが上手に焼けます。

丸身の置きかた

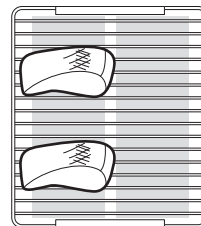
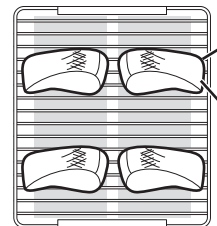
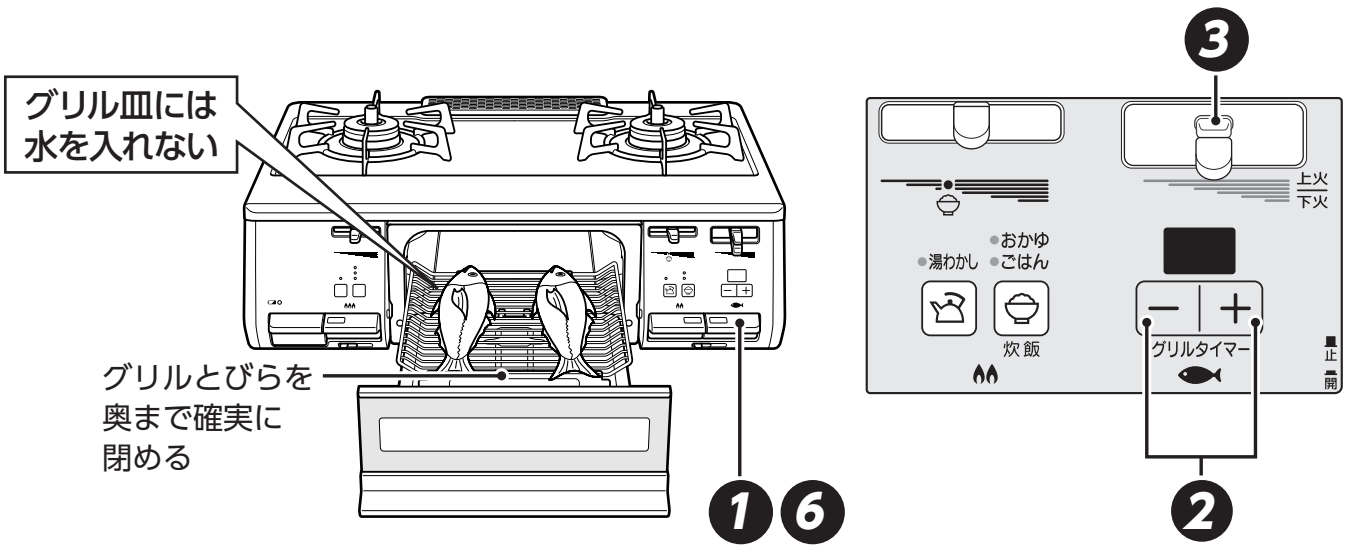
魚は頭が奥に、尾が手前になるように置くと尾の焦げは少なくなります。

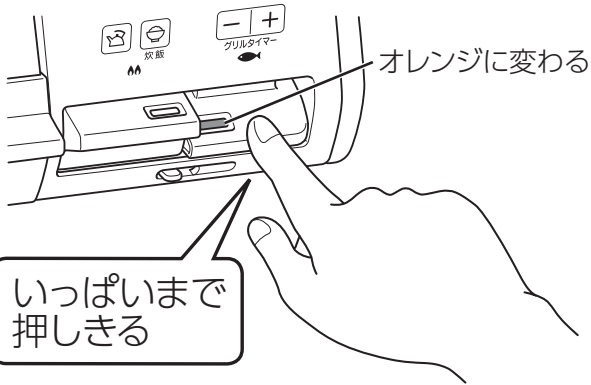
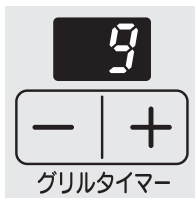
1匹の場合

2匹の場合

3匹以上の場合

切身の置きかた

皮側を上向きに、切身の薄い部分はグリル焼網の外周部にくるように置くと焦げは少なくなります。

1～2切の場合

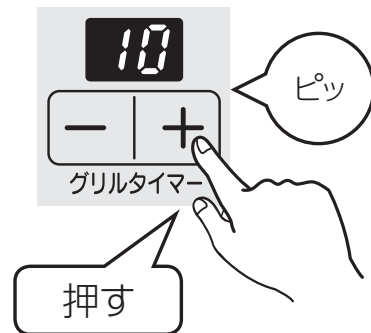
4切の場合

グリルの使いかた

● 設定時間がくるとお知らせし、自動で火を消します。

点火する

● 操作ボタンで点火する。

● 点火すると自動でグリルタイマーがスタートします。

● 最初は「9」（9 分）が表示されます。

● グリル庫内の温度が高いときは、「6」（6 分）が表示されます。

時間設定する

● グリルタイマーセットスイッチ〔+／−〕を押す。

● 1分刻みで1〜15分（最長）に設定できます。

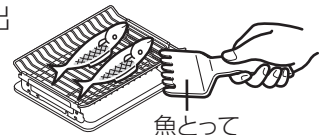
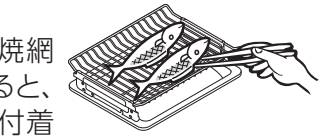
● グリル庫内の温度が高いときは、設定時間は1〜10分（最長）となります。

● 設定時間は調理中でも変更できます。
● 焼き時間の目安は付属のクックブックをご覧ください。

お願い

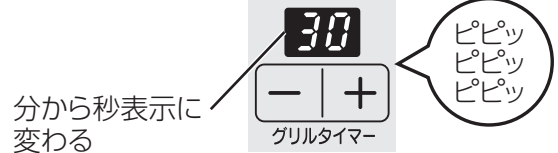
- 調理物の種類によっては、グリルタイマーやグリル過熱防止センサーがはたらく前に発火するおそれがあります。機器から離れないようにし、焼き過ぎに注意してください。
  例）めざしやうるめなどの小魚、干し物や薫製、脂分の多いにしん、塩さば、とり肉など。
- 焼きあがったらすぐに取り出してください。余熱で焦げることがあります。
- つけ焼きや照り焼き、下味をつけた魚などは、焦げやすいので、弱火でゆっくりと焼いてください。
- グリル庫内が高温になるとグリル過熱防止センサーがはたらき、自動で火が消える場合があります。グリル庫内が冷めるまで5分程度待ってから、使用してください。
- グリル皿は急に冷やさないでください。使用直後にグリル皿に水をかけると変形することがあります。グリル皿が冷めてからお手入れください。

ワンポイント

- はしをグリル焼網と平行に入れると、グリル焼網に付着した魚がはがしやすくなります。
- 付属の「魚とって」を使用すると便利です。☞55ページ
  ①魚とっての切りこみをグリル焼網に合わせます。
  ②焼きあがった魚や焼きものの下側に魚とってを入れて、くっついた焼きものをグリル焼網からはがします。
  ③小さい焼きものなら、そのまますくい取って取り出せます。

火力調節する

- 火力は、上火・下火それぞれ別々に調節できます。

設定時間終了 30秒前にお知らせ

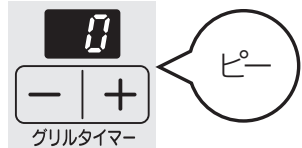
- 30秒前にブザーでお知らせします。

5 設定時間がくると、自動で火が消える

- 設定時間がくると、ブザーでお知らせします。

6 操作ボタンを戻す

- 操作ボタンを押して消火の状態にする。

お願い

- 上火と下火の加熱方式が違うので、表と裏の焼き色が同じにならないことがあります。焼き色を見ながら、上火・下火の火力調節をしてください。

お知らせ

- 操作ボタンを消火の状態にしないときは、グリルタイマー表示部「0」は、約10秒後に消灯します。

日常点検とお手入れの道具

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年 1 回程度の定期点検（有料）をおすすめします。
- 煮こぼれや誤って鍋をひっくり返すなど、機器内部に多量の煮汁などが入った場合、機器の故障や寿命が短くなるおそれがあるので、点検（有料）をおすすめします。

※定期点検については、お買い上げの販売店、またはリンナイフリーダイヤルまでお問い合わせください。

日常点検をしましょう

部品が正しく取り付けられていますか？

●バーナーキャップ、ごとく、バーナーリング、グリル排気口カバーなどは正しく取り付けた状態でお使いください。☞ 16・17 ページ

つまり 、たまり 、汚れはありませんか？

●バーナーキャップの炎口や立消え安全装置（炎検知部）、電極（点火プラグ）が煮こぼれなどでつまったり、汚れたりしていませんか。 ☞ 44ページ

●グリル皿に脂がたまったり、グリル庫内が脂で汚れていませんか。 ☞ 45ページ

●ガス用ゴム管は傷んでいませんか。古くなったガス用ゴム管は新しいガス用ゴム管に交換してください。☞ 17ページ

お手入れの道具と洗剤について

使ってよい

スポンジたわし

歯ブラシ

やわらかい布

台所用中性洗剤（野菜・食器洗い用）

トッププレート・ごとく・バーナーリング・グリル排気口カバー

メラミンフォームスポンジ（※）　金属たわし　クリームクレンザー

※メラミンフォームスポンジはホームセンター量販店などでご購入いただけます。

⊘使ってはいけない

傷・はがれの原因になります。

スポンジたわし裏面（硬い）

ナイロンたわし

たわし

金属たわし

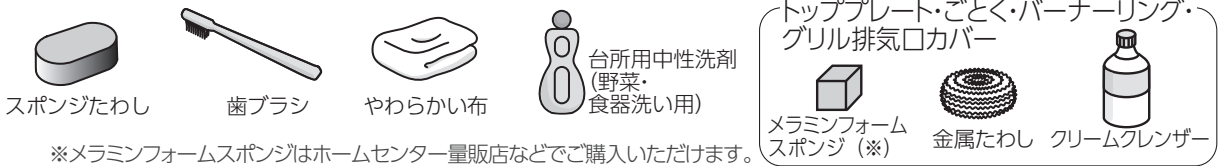
メラミンフォームスポンジ

硬いブラシ

クレンザー

クリームクレンザー

みがき粉

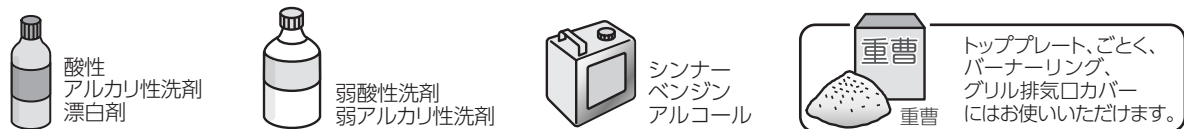
歯みがき粉

はがれ・表面の変質・変色・さび・割れの原因になります。

酸性
アルカリ性洗剤
漂白剤

弱酸性洗剤
弱アルカリ性洗剤

シンナー
ベンジン
アルコール

重曹

トッププレート、ごとく、バーナーリング、グリル排気口カバーにはお使いいただけます。

故障の原因になります。

●機器内部に洗剤が入ると、電子部品などに付着して、作動不良や腐食などの機器故障の原因になります。必ず布に含ませてからお手入れしてください。

直接かけて使ってはいけないもの

スプレー式洗剤

引火して火災の原因になります。

絶対に使ってはいけないもの

可燃性スプレー
浸透液
潤滑剤

お願い

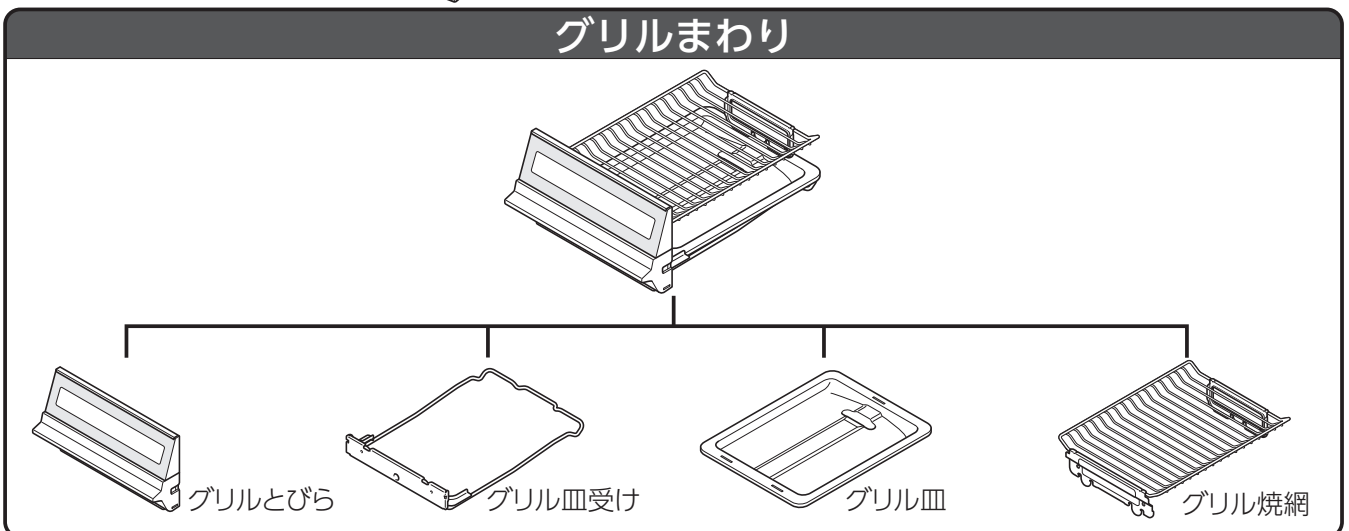
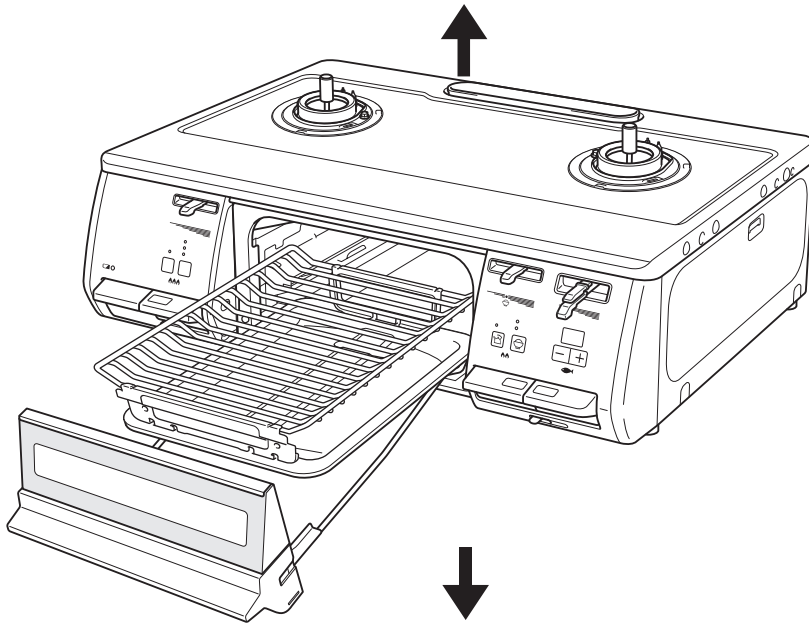
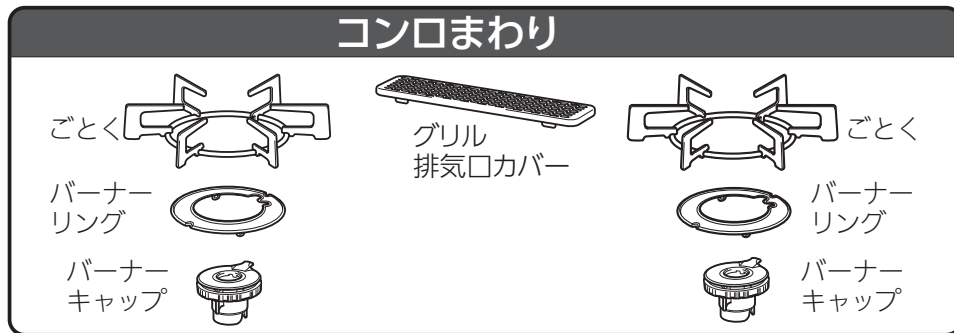
- 道具や洗剤は目立たない部分で試してから、使用してください。
- 食器洗い乾燥機で洗う場合、専用洗剤・食器洗い乾燥機の取扱説明書をよく読んでお使いください。また、煮洗いや食器洗い乾燥機で洗う場合などは、変色したり、ツヤがなくなったりする場合があります。

お手入れの手順

1. 機器が冷めていることを確認する。
2. ガス栓を閉める。
3. 操作ボタンをロックする。☞ 26ページ
4. 手袋をはめてお手入れを開始する。

取りはずして洗える部品

枠内に表示の部品は取りはずして洗うことができます。
※ その他の部分は取りはずしできません。

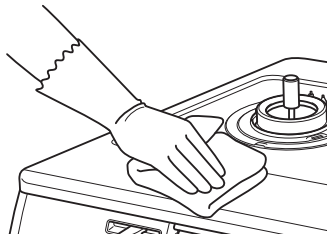
日常点検とお手入れの道具

お手入れのしかた（コンロ）お手入れは、

●汚れたらそのつど、きれいにお手入れしてください。
●手袋をしてお手入れをしてください。
●洗剤は台所用中性洗剤を薄めて使い、お手入れの最後には必ず水ぶきし、乾いた布でふき取り、水気や洗剤を残さないようにしてください。

お願い

- 硬いブラシやたわしは使用しないでください。また、中性洗剤以外の洗剤を使用しないでください。塗装のはがれ・変色・シミ・傷・さびなどの原因になります。☞41ページ

トッププレート

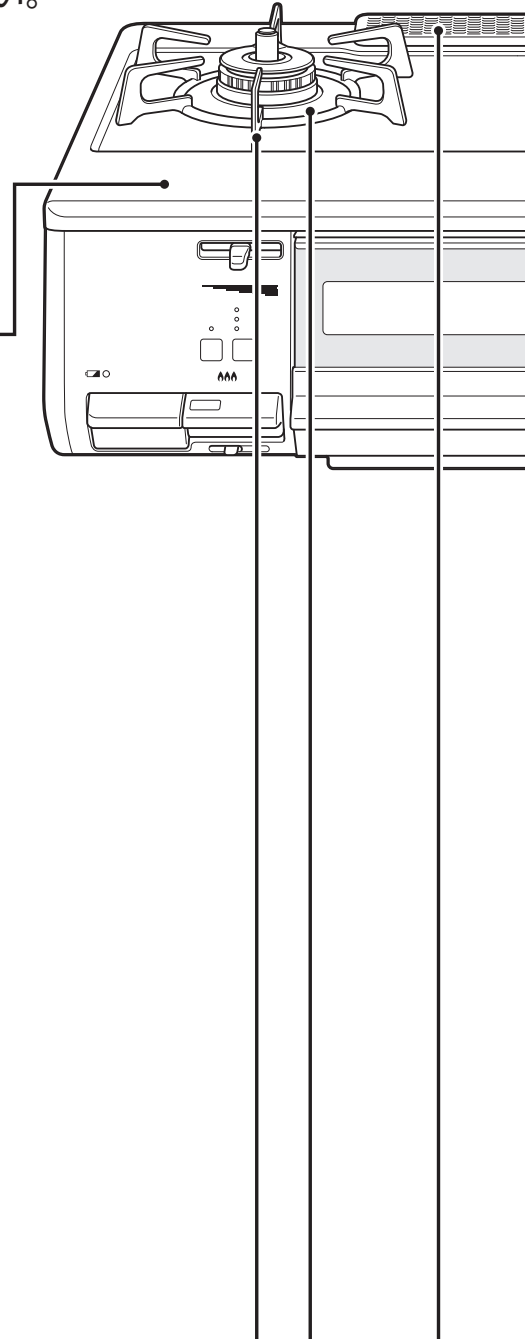
● お手入れのときはごとく、バーナーリング、グリル排気口カバーなどの部品を取りはずし、安定した状態で行ってください。
● 洗剤を含ませた布で汚れをふき取り、乾いた布で洗剤や水気をふき取ります。

汚れがこびりついたとき

1. キッチンペーパーに洗剤と水を含ませ、汚れた部分を湿らせておく。
2. 汚れが浮いてきたらやわらかい布でふき取る。

それでも汚れが取れないとき

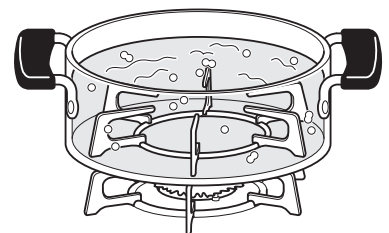
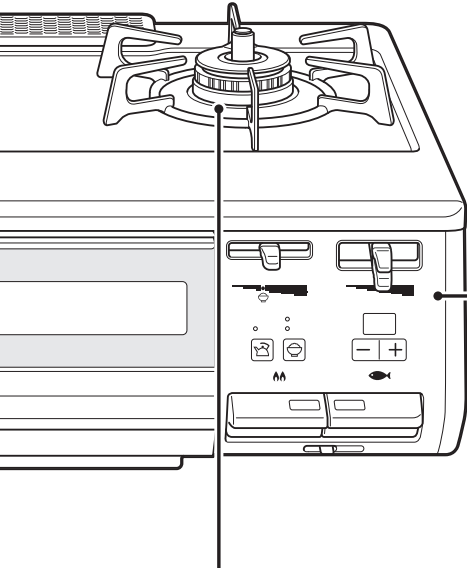
1. ホーロー面に細かい傷が付きますが、メラミンフォームスポンジに水を含ませ、こすり取る。それでも取れないときは、金属たわしに水を含ませてこすり取る。細かい傷に黒ずみが付いたときは、やわらかいスポンジたわしにクリームクレンザーをつけ、こすり取る。
2. 汚れが取れたら、やわらかい布で水ぶきし、乾いた布で仕上げる。

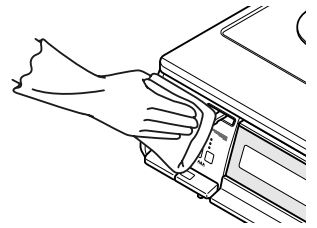
お願い

- トッププレートには、安全に関する注意ラベルが貼り付けてあります。もし、はがれたり、読めなくなった場合は、お買い上げの販売店、またはもよりの当社事業所に連絡してラベルを再購入し、貼り替えてください。

ごとく・バーナーリング・グリル排気口カバー

● 洗剤を含ませた布で汚れをふき取り、乾いた布で洗剤や水気をふき取ります。
● 汚れがひどいときは、つけ置きした後、洗剤で丸洗いしてください。

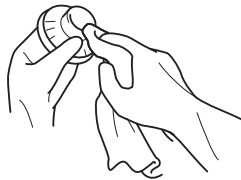
それでも汚れが取れないとき

- 煮洗いするとさらに汚れを落しやすくなります。
  1. 水を入れた大きな鍋にごとくやバーナーリング・グリル排気口カバーを入れ、30分程加熱する。
  2. 冷ましてから、浮き出てきた汚れを水洗いし、水気をふき取る。

※各部品の取り付けについては、☞16ページをご覧ください。

機器表面・操作部

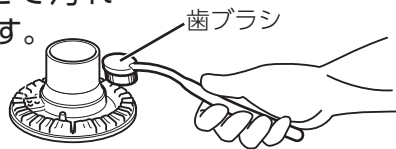
● 洗剤を含ませた布で汚れをふき取り、乾いた布で洗剤や水気をふき取ります。
※機器内部に洗剤が入らないようにしてください。
電子部品に付着して、作動不良や腐食などの機器故障の原因になります。

バーナー部

● やわらかい布で汚れをふき取り、乾いた布で仕上げます。

バーナーキャップ

● 洗剤を含ませた布で汚れをふき取り、乾いた布で洗剤や水気をふき取ります。

※バーナーキャップは分解できません。
※水洗いした後は、水気を十分ふき取ってから取り付けてください。
※ごとくなどと同様に煮洗いもできます。

炎口が目づまりしていたら

• 歯ブラシなどで汚れを取り除きます。

歯ブラシ

※目づまりや汚れは、不完全燃焼や点火不良の原因になります。
※汚れがこびりついたときは、つまようじで汚れを取り除いてください。

バーナー本体

● 表面は、やわらかい布でふき取ります。

立消え安全装置・電極

● 歯ブラシなどでお手入れします。

※電極(点火プラグ) の先端はとがっていますので、けがなどに注意してください。

温度センサー

● 片手を添え、水を含ませて硬くしぼった布で、頭部と側面の汚れをふき取ります。

※強い力を加えると温度センサーが傾いて、鍋底に密着しないことがあります。また、温度センサーを無理に回転させないでください。故障の原因になります。

お手入れのしかた（グリル）

●ご使用のつど、きれいにお手入れしてください。
●手袋をしてお手入れをしてください。
●洗剤は台所用中性洗剤を薄めて使い、お手入れの最後には必ず水ぶきし、乾いた布でふき取り、水気や洗剤を残さないようにしてください。

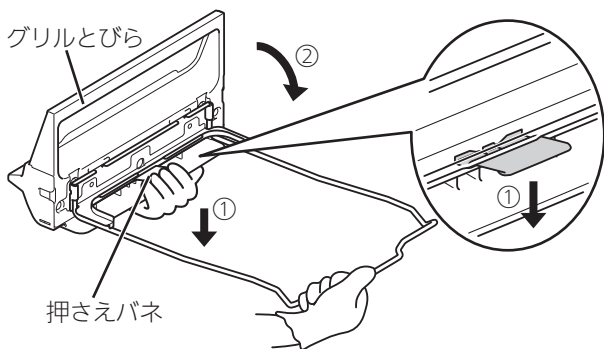
お願い

- 硬いブラシやたわしは使用しないでください。また、中性洗剤以外の洗剤を使用しないでください。塗装のはがれ・変色・シミ・傷・さびなどの原因になります。☞ 41ページ

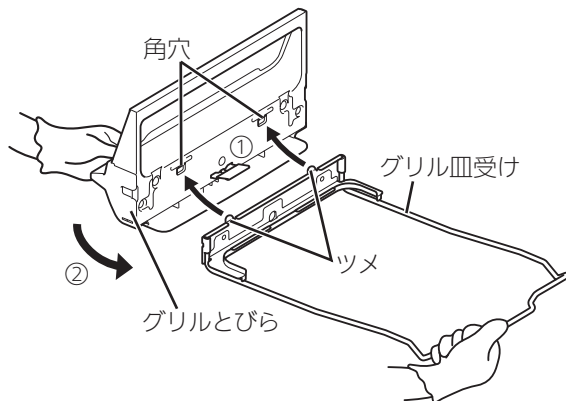
グリルとびら・グリル皿受け

● 洗剤を含ませた布で汚れをふき取り、乾いた布で洗剤や水気をふき取ります。
※ 水気が残っていると、さびなどの原因になります。
● 汚れがひどいときは、つけ置きした後、洗剤で丸洗いしてください。

取りはずしかた

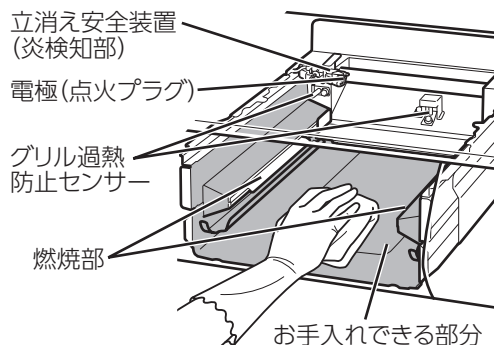
1. 押さえバネを①の方向に下げる。
2. グリルとびらを②の方向にたおす。

※グリルとびらは変形させないでください。
特にグリル皿受けとの固定部が変形すると、グリルとびらの閉まりが悪くなったり、はずれやすくなります。

取り付けかた

1. グリル皿受けのツメ2ヵ所をグリルとびらの角穴にはめ込む。（①）
2. グリルとびらを②の方向に回転させる。
3. 押さえバネがグリル皿受けに確実にはまっているか確認する。

グリル皿・グリル焼網

● 洗剤を含ませた布で汚れをふき取り、乾いた布で洗剤や水気をふき取ります。
● 汚れがひどいときは、つけ置きした後、洗剤で丸洗いしてください。
※ グリル焼網に汚れが残っていると、魚などの調理物がくっつきやすくなります。

グリル庫内（側壁・底部）

● 洗剤を含ませた布でお手入れできる部分の汚れをふき取り、乾いた布で洗剤や水気をふき取ります。
※燃焼部（上火バーナー：天井／下火バーナー：右図指示位置）には触らないでください。炎口がつまり燃焼不良の原因になります。
※グリル庫内の天井部には、立消え安全装置（炎検知部）と電極（点火プラグ）、奥の壁部分にはグリル過熱防止センサーが取り付けてありますので触らないでください。正しくはたらかなくなるおそれがあります。

よくあるご質問 (Q&A)

	ご質問	こうしてください	参照ページ
コンロ	点火しない	ガス栓を閉めていると点火できません。 全開にしてご使用ください。	25
		バーナーキャップの炎口に煮こぼれなどがつまっていると、点火しない場合があります。 お手入れしてください。	44
		電極（点火プラグ）や立消え安全装置（炎検知部）、バーナーキャップがぬれたり、汚れたりしていると点火しない場合があります。 お手入れしてください。	44
		バーナーキャップ、バーナーリングが正しく取り付けられていないと点火しない場合があります。 正しく取り付けてください。	16
		長時間使用していなかったり、朝一番に使用する際などは点火に時間がかかる場合があります。 点火操作を繰り返してください。	–
		点火ロックされていると点火できません。 点火ロックを解除してください。	26
		乾電池が正しく取り付けられているか確認してください。	19
		電池交換サインが点灯している場合は、新しい単 1 形アルカリ乾電池（1.5V）2 個と交換してください。	19
	調理中に 火力が変わったり 火が消えたりする	鍋やフライパンの温度が約 250℃になると、安全機能がはたらき、自動で火力調節します。この状態が約 30 分続くと自動で火を消します。 高温炒めスイッチを押すとさらに高温で調理ができます。 （強火力バーナー）	29・30
		土鍋や耐熱ガラス鍋、圧力鍋を使用すると、まれに焦げつき消火機能がはたらき、火が消えることがあります。 再点火してください。 また、高温炒めスイッチを押して使用してください。 （強火力バーナー）	20・21
		コンロは約 2 時間で消し忘れ消火機能がはたらき、自動で火を消します。	21
	高温炒めモードに 設定しても火力が 変わったり 火が消えたりする	高温炒めモード設定中でも約 290℃になると、異常過熱を防止するために火力を自動で強火・弱火にします。 さらに温度が高くなると自動で火を消します。	30

よくあるご質問 (Q&A)

	ご質問	こうしてください	参照ページ
コンロ	炎の状態 (燃えかた、色)が おかしい	換気をしないと燃えかたが変わったり、炎が赤くなったりします。 使用中は必ず換気してください。また、炎がごとくやバーナーキャップに触れて赤くなることがありますが、異常ではありません。	12
		風が吹き込んでいたり、扇風機やエアコンなどの風が当たっていると、炎がかたよったり色が赤くなったりします。 炎に風が当たらないようにして使用してください。	12
		加湿器を使用すると、水分に含まれるカルシウムにより炎が赤くなることがあります。 異常ではありません。	–
		グリル使用時にコンロを使用すると、焼きものの煙に含まれる塩分(ナトリウム)などにより炎が赤くなることがあります。 異常ではありません。	–
		火力が変わる際に炎が一瞬黄色くなったり、大きくなる場合があります。 異常ではありません。	–
		消火後も数秒間コンロバーナー炎口に小さな炎が残ることがあります。 バーナー内に残った微量のガスによるもので異常ではありません。	–
	鍋底がひどく 焦げついて 火が消えた	焦げつき消火機能は鍋の材質や調理により、焦げつきの程度が変わります。ホーローの鍋や、カレー、シチュー、カラメル、みそなどの水分が少ない料理は、焦げやすくなります。弱火でときどきかき混ぜながら調理してください。	21
		温度センサーや鍋底が汚れていたり、温度センサーが鍋底から離れていませんか? このようなときは鍋の温度を正しく検知できません。	20・44
		鍋底にこんぶや竹皮などを敷くと焦げつきがひどくなる場合があります。 ときどきかき混ぜたり、火加減を調節しながら調理してください。	21
	焼網が使えない	焼きなすやもちはグリルで調理してください。 グリルに入らない大きななすやパプリカなどは、フォークや金串に刺し、高温炒めスイッチを押して、コンロ上であぶり調理をしてください。(強火力バーナー)	–
温度設定モード	揚げものが うまくできない	鍋の形状や材質、油の量によっては、油の温度が設定温度より高めになったり、低めになったりする場合があります。 設定温度を加減してお使いください。	20・27 28
		温度センサーや鍋底が汚れていたり、温度センサーが鍋底から離れていませんか? このようなときは鍋の温度を正しく検知できません。	20・44

	ご質問	こうしてください	参照ページ
湯わかしモード	お湯がわかない、お湯がわいているのにお知らせが遅い	やかんや鍋の形状・材質や水の量によって、お湯がわかなかったり、お湯がわいているのにお知らせが遅くなったりすることがあります。	20・24
		温度センサーや鍋底が汚れていたり、温度センサーが鍋底から離れていませんか？ このようなときは鍋の温度を正しく検知できません。	20・44
		加熱中に鍋を動かしたり水をかき混ぜたりすると、お湯がわかなかったり、お湯がわいているのにお知らせが遅くなったりすることがあります。	32
		一度わかした温かいお湯は、湯わかしモードで正しく検知できない場合があります。	32
		湯わかしモードお知らせ時間を設定変更していませんか?	24
	ふきこぼれる	水を入れすぎていませんか？ やかんの大きさに応じた水の量（目安は最大容量の６～７割）にしてください。	31
炊飯モード	ごはん、おかゆがうまく炊けない	風が吹きこんでいたり、扇風機やエアコンなどの風が当たっているとうまく炊けません。 炎に風が当たらないようにして使用してください。	12
		炊飯途中でふたを開けると、うまく炊けなくなります。	–
		炊飯モードに適した鍋を使用してください。	34
		温度センサーや鍋底が汚れていたり、温度センサーが鍋底から離れていませんか？ このようなときは鍋の温度を正しく検知できません。	20・44
		ごはんモードを設定変更していませんか？	24
		ごはんが硬かったり、やわらかい場合は、５分程度むらしを追加してください。	–
		炊きこみごはんは、白米に比べ焦げやすくなります。	–
		おかゆを炊く場合は､途中でかき混ぜないでください｡かき混ぜると､焦げやすく､粘りが出て､風味が悪くなります。	36
		おかゆに調味料を入れる場合は、炊飯終了後に入れてください。炊飯前に入れると、表面に膜ができ、うまく炊けない場合があります。	36
	途中で誤って、消火してしまった	もう一度、ごはんモードで炊いてください。水分が少ない状態で再点火した場合は、鍋底のお米が焦げる場合があります。（おかゆの場合は、自動では炊けません。様子を見ながら、弱火で炊いてください。）	35・36

よくあるご質問 (Q&A)

	ご質問		こうしてください	参照ページ
炊飯モード	無洗米がうまく炊けない	▶	必ず 30 分以上、水に浸してから炊いてください。洗米してすぐ炊飯した場合は、ふきこぼれや生炊きの原因になります。	33・34
			よくかき混ぜて、1、2 度すすいで洗い流してください。でんぷん質が底に沈殿したり、お米の表面に気泡ができると、水が吸収されず、生炊きの原因になります。	34
			無洗米専用計量カップを使用してください。使用していない場合は、水の量を 3%程度多くしてください。	34
	おかゆがふきこぼれる	▶	鍋によってふきこぼれる場合があります。ふたをずらしたり、持ち上げたりするとふきこぼれしにくくなります。	36
グリル	点火しない	▶	ガス栓を閉めていると点火できません。全開にしてご使用ください。	37
			グリル庫内が高温になっていると、グリル過熱防止センサーがはたらいて点火できません。グリル庫内が冷めるまで 5 分程度待ってから、使用してください。	22
			長時間使用していなかったり、朝一番に使用する際などは点火に時間がかかる場合があります。点火操作を繰り返してください。	–
			点火ロックされていると点火できません。点火ロックを解除してください。	26
			乾電池が正しく取り付けられているか確認してください。	19
			電池交換サインが点灯している場合は、新しい単 1 形アルカリ乾電池（1.5V）2 個と交換してください。	19
	調理がうまくできない	▶	完全に解凍しないと、焼き色が薄かったり、中まで火が通らないことがあります。また、グリル過熱防止センサーがはたらく場合があります。	38
			魚の数に合わせて、置く位置を調節してください。	38
			みそ漬けやかす漬けの魚を焼くときは、「みそ」や「かす」は取ってから焼いてください。	38
			グリルとびらを確実に閉めてください。閉まっていないと焼き色が薄かったり、中まで火が通らないことがあります。	–
	使用中に消火する	▶	グリル庫内が高温になるとグリル過熱防止センサーがはたらき、自動で火が消える場合があります。グリル庫内が冷めるまで 5 分程度待ってから、使用してください。	22

	ご質問		こうしてください	参照ページ
グリル	グリル排気口やコンロ部から煙が出る	▶	初めてグリルを使うとき、グリル排気口やコンロ部から煙やにおいが出ることがあります。グリルバーナー周囲の金属部品に残った加工油によるもので、異常ではありません。	37
			グリル皿やグリル焼網が汚れていたり、脂の多い魚などを焼いた場合は、煙が多く発生しますので、グリル排気口以外からも煙が出る場合があります。	–
			グリルとびらを確実に閉めてください。 閉まっていないとすき間から煙が出ることがあります。	–
音	コンロ消火後に「ポン」という音がする	▶	ガスが燃え尽きる際に発生する音です。 異常ではありません。	–
	点火後や消火後にキシミ音がする	▶	加熱や冷却により金属が膨張、収縮する音です。 異常ではありません。	–
	コンロ使用中に「シャー」という音がする	▶	ガスがバーナ内部を通過する音です。 異常ではありません。	–
	グリル使用中に「ポッポッ」という音がする	▶	グリル庫内が冷めているときに発生する燃焼音で、異常ではありません。 温まるとなくなります。	–
	ブザーが約 8 秒間鳴る	▶	部品が故障しています。 ガス栓を閉め、お買い上げの販売店、またはリンナイフリーダイヤルにご連絡ください。	57
	ブザーが 1 分ごとに鳴る	▶	コンロ・グリル操作ボタン戻し忘れお知らせ機能です。 操作ボタンを戻し忘れると、1 分ごとにブザーが鳴ります。 すぐに操作ボタンを戻してください。	22

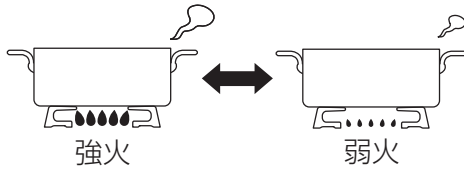
よくあるご質問 (Q&A)

その他

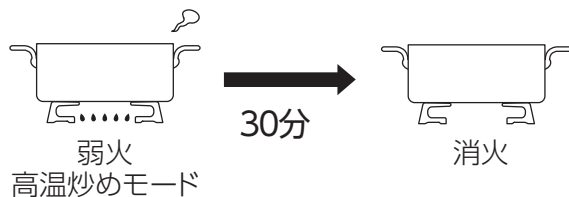
ご質問	こうしてください	参照ページ
点火すると他のバーナーもパチパチする	他のバーナーも同時にパチパチする構造です。 異常ではありません。	–
操作ボタンから手を放してもパチパチしている	操作ボタンから手を放しても最長で 10 秒間パチパチが続きます。 異常ではありません。	–
ごとく・バーナーキャップ・グリル排気口カバー・バーナーリングが変色する	ごとくの先端は、炎が当たり白くざらざらになります。 異常ではありません。ごとくなどは消耗部品です。 交換部品として販売しています。	55
	酸性やアルカリ性洗剤は使用しないでください。 台所用中性洗剤を薄めて使用してください。	41
	煮洗いや食器洗い乾燥機で洗う場合などは、変色したり、ツヤがなくなったりする場合がありますが、性能に問題はありません。	–
部品が傷んできた	お客様にて取り替え可能な消耗部品は、傷んできたら早めに交換してください。	55
グリルしか使っていないのにトッププレートが熱くなる	グリルからの熱でトッププレートが熱くなる場合があります。 グリル使用中や使用直後は、トッププレートに触らないよう注意してください。	11
火力が変わらない	火力調節しても炎の変化が小さかったり、変化しないように見える位置があります。 異常ではありません。	–
電池交換サインが点滅する	乾電池の交換時期が近づいています。 点滅が点灯に変わると使用できなくなりますので、早めに新しい単 1 形アルカリ乾電池（1.5V）2 個を準備してください。	19

特に多いご質問をまとめました

1 勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする

⇒ 温度センサーがはたらいて、自動で強火・弱火を調節しながら、
高温になり過ぎるのを防いでいます。故障ではありません。☞30・46ページ

安全機能が
はたらいて、コンロが自動で
火力調節しています

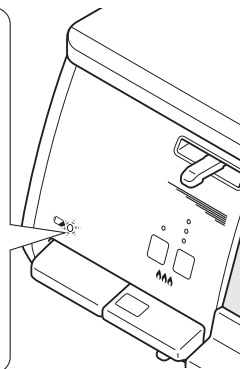
2 高温炒めモードに設定したのに、勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする

⇒ 高温炒めモード設定中でも温度センサーがはたらいて、自動で強火・弱火を調節します。高温炒めモードに設定し、最初に自動で弱火になってから約30分で、自動で火を消します。故障ではありません。☞30・46ページ

※高温になり過ぎたときも
火を消します。

※高温炒めモードに設定してから、最長60分で自動で火を消します。

3 操作ボタンを押しても点火しない

※操作パネルの左側にある電池交換サインが点灯している。

⇒ 乾電池が消耗しています。新しい単1形アルカリ乾電池（1.5V）2個と交換してください。
☞19ページ
乾電池交換の目安は約1年です。

ブザーが鳴って、こんな表示

表示		ブザー音	内容
0		ピー1回 (約2秒)	グリルタイマー終了
00 ↔	-1	ピー3回	コンロ消し忘れ消火機能作動
	-3	ピー3回	コンロ消し忘れ消火機能作動 高温炒めモード終了
02 ↔	-1、-3	ピー5回	天ぷら油過熱防止機能作動 焦げつき消火機能作動
	-5	ピー3回	グリル過熱防止センサーの作動
11 ↔	-1、-3、-5	ピー3回	点火時に着火しなかった
12 ↔	-1、-3、-5	ピー3回	立消え安全装置の作動
14 ↔	-1、-3	ピー5回	温度センサー過熱防止機能作動
24 ↔	-3	ピー1回 (約8秒)	高温炒めスイッチ故障
31 ↔	-1、-3	ピー1回 (約8秒)	温度センサーの故障
32、33 ↔	-5	ピー1回 (約8秒)	グリル過熱防止センサーの故障
53 70、71、72 ↔	-1、-3、-5	ピー1回 (約8秒)	電子部品の故障
(電池交換サイン)〈点灯〉		ピー3回	電池交換のお知らせ
おかゆ ごはん(ごはんモード)　おかゆ ごはん(おかゆモード)〈点滅〉		ピー1回 (約2秒)	炊飯モード(ごはん・おかゆ) 終了
湯わかし〈点滅〉		ピー1回 (約2秒)	湯わかしモード終了

-1:標準バーナー　-3:強火力バーナー　-5:グリルバーナー　↔:交互に点滅

※モードランプ、表示部を消灯する場合は操作ボタンを押してください。

原　　因	処置と再使用時の注意	参照ページ
設定した時間がたち、自動で火が消えました。	● 操作ボタンを押して戻してください。	39・40
使用開始から約2時間または設定した時間がたち､自動で火が消えました。	● 操作ボタンを押して戻してください。 ● 続けて使用する場合は、再点火を行ってください。	21
最初に自動で弱火になってから約30分がたち､自動で火が消えました。	● 操作ボタンを押して戻してください。	29・30
調理油の過熱・焦げつき・消し忘れによる過熱・空炊きなど	● よくあるご質問（Q&A）｢調理中に火力が変わったり､火が消えたりする｣｢鍋底がひどく焦げついて火が消えた｣を確認してください。 ● やけどに注意して再点火を行ってください。 ● 天ぷら油過熱防止機能がはたらいて火が消えた場合（温度センサーが高温のままの状態）は、点火しても手を離すと火が消える場合があります。冷めるのを待ってから、再点火を行ってください。	21・46 47
グリルの空焼き・消し忘れ・連続して使用した場合・少ない食材など	● グリル過熱防止センサーがはたらいて火が消えた場合（温度センサーが高温のままの状態）は、点火しても手を離すと火が消える場合があります。 ● グリル庫内が冷めるまで 5 分程度待ってから、再点火を行ってください。	22・49
炎のふき消え・煮こぼれした場合・点火しなかった場合など	● よくあるご質問（Q&A）「点火しない」「調理中に火力が変わったり､火が消えたりする」「炎の状態（燃えかた､色）がおかしい」を確認してください。 ● 周囲にガスがなくなるまで待ってから、再点火を行ってください。	21・46 47・49
過熱防止機能が作動したなどの異常を検知しました。	● 操作ボタンを押して戻してください。 ● 使用する場合は、冷めるのを待ってから、再点火を行ってください。	46
部品が故障しています。	● ガス栓を閉め､使用を中止し､お買い上げの販売店､またはリンナイフリーダイヤルにご連絡ください。	57
乾電池が消耗しました。	● 新しい単 1 形アルカリ乾電池（1.5V）2 個と交換してください。	19
炊飯モードで炊きあがり自動で火が消えました。	● 操作ボタンを押して戻してください。	35・36
沸とうして、約 5 分後に自動で火が消えました。	● 操作ボタンを押して戻してください。	31・32

交換部品・別売品のご紹介

交換部品(お客様にて取り替え可能な消耗部品)・別売品

- 消耗部品は傷んできたら交換してください。お求めの場合は、当社交換部品・お手入れ品の販売サイトR.STYLE（http://www.rinnai-style.jp/）または、お買い上げの販売店にてお求めください。

	部品名		希望小売価格(税込)	部品コード
交換部品	ごとく	強火力・標準バーナー用	¥1,260	010-373-000
	バーナーリング		¥368	018-222-000
	バーナーキャップ	強火力バーナー用	¥1,260	151-418-000
		標準バーナー用	¥1,260	151-419-000
	グリル皿		¥1,890	070-180-000
	グリル焼網		¥893	071-049-000
	グリル排気口カバー		¥788	098-3333000

	部品名・品名		型番または部品コード		
別売品	炊飯専用かま	(3合炊き)	RTR-03E		当社交換部品・お手入れ品の販売サイトR.STYLE（http://www.rinnai-style.jp/）または、お買い上げの販売店にてお求めください。
	炊飯専用鍋	(3合炊き)	RTR-300D1		
		(5合炊き)	RTR-500D		
	魚とって		RTO-ST1		
	クッキングプレート		RCP-65V		
	防熱板 ①	550×600mm	RB-60B	詳しくは ☞ 15ページをご覧ください。	
	防熱板 ②	550×550mm	RB-55S		
	防熱板 ③	600×550mm	RB-60T		
	防熱板 ④	150×550mm	RB-15T		
	防熱板 ⑤	150×500mm	RB-50S		

(2013年3月現在の価格です。価格・仕様は、変更される場合があります。あらかじめご了承ください。)

- 単1形アルカリ乾電池はもよりの電気店などでお買い求めください。
- 当社交換部品・お手入れ品の販売サイト（R.STYLE）では、上記以外の交換部品やお手入れ品などを幅広く取り扱っております。本製品の交換部品は、お客様自身でお取り替えできる部品が対象です。

当社製品の交換部品･お手入れ品をインターネット販売サイトよりご注文いただけます。
http://www.rinnai-style.jp/

長期間使用しない場合

●お部屋のガス栓を必ず閉めてください。（つまみのないガスコンセントの場合は、ガスコンセントからソケットをはずす。）
●ガス通路部にほこりが入らないように機器のホースエンドやガスコードの接続口には必ずキャップをしてください。
●乾電池をはずしてください。☞ 19 ページ
●お手入れしておくと、次回使用するときに便利です。

仕様・寸法図

仕　様

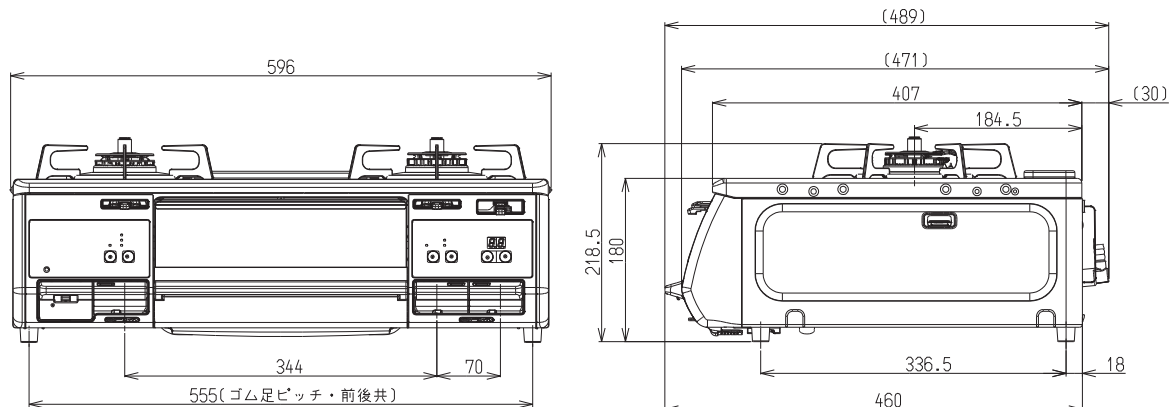
品名	RT62WH5T-VL、KGM62VT-TGL KGM62VT-TBL	RT62WH5T-VR、KGM62VT-TGR KGM62VT-TBR
型式の呼び	RT62WHT-L	RT62WHT-R
型式名	RT62WHT	
種類	グリル付ガステーブル	
点火方法	連続放電点火式	
外形寸法	高さ 180 ㎜（トッププレートまで）× 幅 596 ㎜ × 奥行 489 ㎜	
質量（本体）	14.0 kg	
安全機能	• 天ぷら油過熱防止機能　• 立消え安全装置　• コンロ消し忘れ消火機能 • グリル消し忘れ消火機能　• 焦げつき消火機能　• 点火ロック • 中火点火機能　• グリル過熱防止センサー • コンロ・グリル操作ボタン戻し忘れお知らせ機能　• 高温自動温度調節機能	
電源	DC3.0V（単 1 形アルカリ乾電池（1.5V）×2 個）	
付属品	単 1 形アルカリ乾電池（1.5V）×2 個、取扱説明書（保証書付）、クックブック、魚とって	

使用ガス 使用ガスグループ		1 時間当たりのガス消費量				ガス接続
		個別ガス消費量			全点火時 ガス消費量	
		強火力バーナー	標準バーナー	グリル		
都市ガス用	13A	4.20kW	2.97kW	1.88kW	8.60kW	内径 9.5 ㎜ ガス用ゴム管
	12A	3.91kW	2.77kW	1.75kW	8.01kW	
LPガス用		4.20kW	2.97kW	2.00kW	8.60kW	

（本仕様は改良のため、お知らせせずに変更することがあります。あらかじめご了承ください。）

寸法図

図は左コンロが強火力バーナーの機器です。

(単位 : mm)

アフターサービス／廃棄時のお願い

アフターサービス

修理を依頼されるときは	『よくあるご質問 Q&A』をもう一度ご覧になって確認してください。それでも不具合のある場合や不明な場合は、ご自分で修理なさらずにもよりの販売店、またはフリーダイヤルへご相談ください。アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。 （1）製品名・ガス種類（☞ 7 ページ） （2）型式の呼び（銘板表示のもの）（☞ 7 ページ）及び品名（☞ 3 ページ） （3）故障または異常の内容（できるだけくわしく） （4）ご住所・お名前・電話番号・道順　（5）訪問ご希望日
保証について	当社は保証書に記載してあるように、機器の販売後、機器に故障がある場合、一定期間と一定条件のもとに無料修理に応ずることをお約束します。（詳細は保証書をご覧ください）保証書を紛失されますと無料修理期間であっても修理費をいただく場合がありますので大切に保管してください。
補修用性能部品の保有期間について	●製造打ち切り後 5 年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。 ●保証期間が過ぎていても、修理すれば性能が維持できる場合は、有料で修理致します。
転居されるとき	ガスには都市ガス数種類および LP ガスの区分があります。ガスの種類（ガスグループ）が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、転居先のもよりのガス事業者にご相談ください。この場合、保証期間内でも、調整・改造に要する費用は有料となります。ただし、ガスの種類によっては調整できない場合があります。
アフターサービスなどについてわからないとき	お買い上げの販売店か別添の「連絡先一覧表」を参照していただき、もよりの当社事業所にご連絡ください。また、リンナイフリーダイヤル をご利用ください。 0120-054-321
お客様の個人情報の取り扱いについて	●当社は、お客様よりお知らせいただいたお客様のお名前・ご住所・電話番号などの個人情報を、サービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。 ●当社は、機器の修理や点検業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供はいたしません。

廃棄時のお願い

本機器は乾電池を使用していますので、大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取りはずしてください。そのままにしておきますと思わぬ事故になることがあります。

リンナイ グリル付ガステーブル 保証書

この製品は厳密なる品質管理および検査を経てお届けしたものです。
本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

記

1. 保証期間は、お買い上げの日から１年間とし、機器本体を対象とします。
   保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
2. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
3. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、フリーダイヤルまたは別添の「連絡先一覧表」をご覧の上、お近くのリンナイ支社・支店・営業所・出張所などにご相談ください。
4. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
5. 保証についての規定は下記をご覧ください。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはもよりの当社窓口が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。
   なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
   (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下などによる故障および損傷。
   (ハ) 犬・猫・鳥・鼠・くも・ゴキブリなどの小動物や昆虫類の侵入などに起因する不具合。
   (ニ) 火災、水害、地震、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
   (ホ) 一般家庭以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
   (ヘ) 本書の提示がない場合。
   (ト) 本書にお買い上げ年月日、販売店名の記入のない場合あるいは字句が書き替えられた場合。
   (チ) 指定外の燃料の使用、燃料の供給事情による故障および損傷。
   (リ) ご転居などによる熱量変更に伴う改造・調整の場合。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または別添の「連絡先一覧表」をご覧の上、お近くのリンナイ支社・支店・営業所・出張所などにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

お買い上げ日および販売店名

お買い上げ日	平成　　年　　月　　日

販売店名		扱者印	
住所			
電話番号			

修理記録

年　月　日	修理内容

お客様へ
この保証書をお受取りになるときにお買い上げ日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。

見本

リンナイ株式会社
〒454-0802　名古屋市中川区福住町2番26号
TEL 052 (361) 8211 代表

製品についてのお問い合わせは

本社	☎052(361)8211	〒454-0802 名古屋市中川区福住町2番26号
関東支社	☎03(3471)9047	〒140-0002 東京都品川区東品川1－6－6
東京支店	☎03(3471)9047	〒140-0002 東京都品川区東品川1－6－6
北関東支店	☎048(667)4321	〒331-0811 さいたま市北区吉野町１丁目396－1
東関東支店	☎043(273)3360	〒261-0026 千葉市美浜区幕張西2丁目7－1
南関東支店	☎045(320)3051	〒221-0856 横浜市神奈川区三ツ沢上町4番10号
東北支社	☎022(288)3251	〒984-0038 仙台市若林区伊在字東通20－1
北海道支店	☎011(281)2506	〒060-0031 札幌市中央区北一条東2丁目
新潟支店	☎025(247)6610	〒950-0864 新潟市東区紫竹2丁目1－74
中部支社	☎052(363)8001	〒454-0802 名古屋市中川区福住町2番26号
関西支社	☎06(6786)3612	〒550-0014 大阪市西区北堀江3丁目10番21号
中国支店	☎082(277)5131	〒733-0833 広島市西区商工センター4丁目2－1
四国支店	☎087(821)8055	〒760-0066 高松市福岡町2丁目11番6号
九州支社	☎092(281)3234	〒812-0029 福岡市博多区古門戸町2番3号

修理についてのお問い合わせは

JT0030-031X01 (01)
TC-01
06000005198490